

2022 年 研究業績

[Researches and Social Works in 2022]

研究業績

■ 河田 惠 昭

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|------------|----------------------------|---|
| (著書) | | | | |
| 国難災害をのりこえる | 単著 | 2022年1月25日 | 丸善 | 自然災害科学・防災の百科事典, pp.700-701 |
| 自叙伝 災害文化を育てよ、そして大災害に打ち克て | 単著 | 2022年2月25日 | ミネルヴァ書房 | pp.485 |
| (学術論文) | | | | |
| 変貌する災害列島と縮災 No.69 心配な首都直下地震時のブラックアウト | 単著 | 2022年1月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.669, p.26 |
| 新春に語る 多難時代をいかに乗り切るか(対談) | 単著 | 2022年1月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.669, pp.4-12 |
| 巻頭言 予測できない災害にどう備えるべきか(縮災) | 単著 | 2022年1月15日 | (株)総合土木研究所 | 基礎工 Vol.50 No.1, p.1 |
| 災害対策基本法制定から60年 国難災害の縮災に役立てるには | 単著 | 2022年1月17日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.428, pp.40-41 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.70 災害対策基本法制定60周年 事前対策ができない法律 | 単著 | 2022年2月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.670, p.22 |
| 首都直下地震での発生必至 長期広域停電への対策急げ | 単著 | 2022年2月21日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.430, pp.40-41 |
| Policies of disaster management in Japan for preparation for Nankai megathrust earthquake | 単著 | 2022年3月1日 | Fuji Technology Press Ltd. | Journal of Disaster Research Vol.17 No.2, pp.164-182 |
| 巻頭言(気候変動と防災・危機管理) | 単著 | 2022年3月1日 | (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 | 21世紀ひょうご Vol.32, pp.1-2 |
| 国難災害に備える | 単著 | 2022年3月1日 | ぎょうせい | ガバナンス No.251, pp.17-19 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.71 いよいよ防災研究分野に拡がり始めた末期的症状 | 単著 | 2022年3月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.671, p.22 |
| 都市災害とレジリエンス | 単著 | 2022年3月1日 | せたがや自治政策研究所 | 都市社会研究 No.14, pp.1-19 |
| 地球温暖化による気候変動は「文明の生態史観」で検証できる | 単著 | 2022年3月21日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.432, pp.46-47 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.72 ハイブリッド型の文化・文明論の勧め | 単著 | 2022年4月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.672, p.21 |
| 首都直下地震を国難災害にしないために | 単著 | 2022年4月18日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.434, pp.40-41 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.73 豊かな社会では、災害による被害の大きさは死者数や被害額だけでは表現不可能 | 単著 | 2022年5月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.673, p.24 |
| 首都直下地震などの国難災害の被害を軽減する秘策 | 単著 | 2022年3月31日 | 政策研究センター | 日本の住宅都市'21, pp.12-19 |
| 被害軽減には発想の転換が必要 被害規模は災害の大小では決まらない | 単著 | 2022年5月16日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.436, pp.40-41 |
| 「大津波来ない」で27%が犠牲に 津波は「逃げるが勝ち」 | 単著 | 2022年6月1日 | リベラルタイム出版社 | リベラルタイム 第22巻第65号, pp.24-25 |
| 現行憲法で人命は失われる | 単著 | 2022年6月1日 | 産経新聞社 | 正論 7月号 通巻610号, pp.148-155 |
| 「相転移」した感染症拡大と2つの効果的対策 | 単著 | 2022年6月1日 | 公益財団法人NIRA総合研究開発機構 | 日本と世界の課題 ウイズ・ポストコロナの地平を拓く, p.20 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.74 災害は社会現象であることを忘れない! | 単著 | 2022年6月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.674, p.22 |
| 深刻な災害問題を解く鍵～行政と議会の連携～ | 単著 | 2022年6月20日 | 内外ニュース | 週刊「世界と日本」No.2223, p.1 |
| レジリエントな国際社会構築への貢献 | 単著 | 2022年6月20日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.438, pp.44-45 |
| せまりくる巨大地震 3.南海トラフ地震、5.巨大地震に備える | 単著 | 2022年7月5日 | ニュートン・プレス | Newton 別冊, pp.58-77,102-121 |

社会安全学研究 第13巻

| | | | | |
|---|-----------|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| このままでは大地震は対応できず国家は衰亡する | 単著 | 2022年7月1日 | 日本会議 | 月刊 日本の息吹 第416号, p.14 |
| トランス・サイエンスとトランス・カルチャーを踏まえたパンデミック対策 | 単著 | 2022年7月15日 | 医学書院 | 公衆衛生 Vol.86 No.70, pp.580-587 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.75 地球温暖化による豪雨増と河川狭窄部の役割点検 | 単著 | 2022年7月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.675, p.22 |
| あなたは覚悟していますか? 首都直下地震時のブラックアウト | 単著 | 2022年7月18日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.440, pp.40-41 |
| 特別寄稿 今後の災害対策のあり方 | 単著 | 2022年7月25日 | 公益財団法人 日本港湾協会 | 港湾 第99巻第7号, pp.6-7 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.76 国土強靱化政策から抜けている直近のエネルギー・電力供給の強靱化 | 単著 | 2022年8月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.676, p.22 |
| 特別寄稿 兵庫県における巨大災害のリスクと備えについて | 単著 | 2022年8月1日 | ひょうご県友会 | ひょうご県友会報 第41号, pp.2-4 |
| 想定死者数は間違っていないか 人的被害の激増要因に変化 | 単著 | 2022年8月15日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.442, pp.62-63 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.77 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターの新たな挑戦 | 単著 | 2022年9月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.677, p.22 |
| 人と防災未来センターの新たな挑戦 | 単著 | 2022年9月1日 | 公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 | 研究レターHem21オピニオン Vol.73 9月号 |
| 「首都直下地震, M7.3程度」は本当か 被害拡大の可能性, 想像して備えを | 単著 | 2022年9月19日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.444, pp.38-39 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.78 遺伝子操作で避難行動を優先させる方法は是か? | 単著 | 2022年10月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.678, p.22 |
| 南海トラフ地震の犠牲者は想定をはるかに超える | 単著 | 2022年10月17日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.446, pp.44-45 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.79 災害文化として流域治水を評価する | 単著 | 2022年11月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.679, p.22 |
| 最近の風水害の変化と被害軽減策の提案～住民の新たな災害文化の醸成～ | 単著 | 2022年11月7日 | 榊内外ニュース | 週刊「世界と日本」第2232号, p.2 |
| 南海トラフ地震による電力需給の複雑な問題 | 単著 | 2022年11月21日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.448, pp.40-41 |
| 変貌する災害列島と縮災 No.80 わが国の巨大災害対策の実効性を高める | 単著 | 2022年12月1日 | ウォーターアンドライフ社ライフ社 | Water & Life No.680, p.22 |
| 南海トラフ地震と富士山噴火 複合災害に対する基本的な対応策 | 単著 | 2022年12月19日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.450, pp.40-41 |
| (その他, 論考・研究資料等) | | | | |
| 和歌山商高など表彰 ぼうさい甲子園オンラインで | 毎日新聞 | 2022年1月10日 | | |
| 防災相教訓継ぐ展示視察 | 読売新聞 | 2022年1月16日 | | |
| 阪神・淡路大震災の教訓を次代へ | 公明新聞(電子版) | 2022年1月17日 | | |
| オンラインで災害メモリアルアクション KOBÉ | 兵庫ジャーナル | 2022年1月17日 | | |
| 「教わったこと減災に」児童誓い | 読売新聞 | 2022年1月18日 | | |
| ひょうご安全の日のつどい | 兵庫ジャーナル | 2022年1月24日 | | |
| 国際防災・人道支援フォーラム2022 | 朝日新聞 | 2022年2月6日 | | |
| 国際防災・人道支援フォーラム2022 | 兵庫ジャーナル | 2022年2月14日 | | |
| 研究史の細部に宿る教訓 | 日本経済新聞 | 2022年4月2日 | | |
| 新映像「にげよう——大切な命を守るために」人防未来センター東館で上映 | 兵庫ジャーナル | 2022年4月18日 | | |

研究業績

| | | | | |
|---|---------|-------------|-------------------|---|
| 人と防災未来センター20年 次の大災害へ対策発信 | 読売新聞 | 2022年 4月27日 | | |
| 開館20周年記念企画展 | 産経新聞 | 2022年 5月 3日 | | |
| 藤本百男県会議長 県勢報告会・特別講演会 | 兵庫ジャーナル | 2022年 5月30日 | | |
| 人と防災未来センター20年 広域災害 課題探る | 朝日新聞 | 2022年 5月 7日 | | |
| 防災「いつ」「誰が」明示 | 毎日新聞 | 2022年 5月 7日 | | |
| 人と防災未来センター開設20年 知事視察「発信が大切」 | 産経新聞 | 2022年 5月12日 | | |
| 10月、神戸で「ほうさいこくたい」斎藤知事、会場を視察 | 神戸新聞 | 2022年 5月12日 | | |
| 読み継ぐ防災100年童話集 | 読売新聞 | 2022年 9月 6日 | | |
| 温暖化と災害テーマに報告会 | 神戸新聞 | 2022年 9月17日 | | |
| 防災その先へ 常二備へヨ 憲法の緊急事態条項 国難級災害に不可欠 | 産経新聞 | 2022年10月17日 | | |
| 地域が主体防災根付く 災害文化発信する責務 | 神戸新聞 | 2022年10月22日 | | |
| 防災100年えほんプロジェクト始動 | 兵庫ジャーナル | 2022年10月31日 | | |
| 災害への備え 専門家語る 中央区で防災市民サミット | 読売新聞 | 2022年11月 6日 | | |
| ボランティア減少に危機感 | 神戸新聞 | 2022年11月 7日 | | |
| 「ほうさいこくたい」総括 | 兵庫ジャーナル | 2022年11月 7日 | | |
| 大森一樹さん死去 阪神で被災 復興願う作品も | 読売新聞 | 2022年11月16日 | | |
| 開設20周年記念式典 | 水道産業新聞 | 2022年11月21日 | | |
| 「安全の日つどい」方針決定 | 兵庫ジャーナル | 2022年12月 5日 | | |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (招待講演) | | | | |
| 「自主防災活動と地域防災計画」「企業・団体の事業継続」 | 単独 | 2022年 1月15日 | 防災士研修センター | 防災士養成講座 (大阪府泉佐野市エブノ泉の森ホール) |
| 国難を想定した危機管理法制を――大規模自然災害に備えて―― | 単独 | 2022年 1月28日 | ニューレジリエンスフォーラム事務局 | ニューレジリエンスフォーラム企画委員会(東京都千代田区衆議院第2議員会館) |
| 群馬県における自然災害とその対応 | 単独 | 2022年 2月 1日 | 人と防災未来センター | トップフォーラム in 群馬 (オンライン) |
| 社会現象としての「相転移」を国難災害に適用する | 単独 | 2022年 2月 4日 | 震災対策技術展事務局 | 第26回震災対策技術展横浜 (神奈川県横浜市パシフィコ横浜) |
| 防災庁(省) 創設の提案 | 単独 | 2022年 2月 4日 | 関西広域連合 | 第26回震災対策技術展横浜 (神奈川県横浜市パシフィコ横浜) |
| BCP(事業継続計画) 縮災対策編 | 単独 | 2022年 2月10日 | NTT ドコモ | NTT ドコモオンラインセミナー (大阪府大阪市 NTT 西日本研修センター) |
| 大規模災害に備える緊急事態条項 | 単独 | 2022年 3月 2日 | 日本会議国会議員懇談会 | 憲法改正勉強会 (東京都千代田区参議院議員会館) |
| 大雨洪水警報が発表され、名古屋市長が避難指示を出しても市民はなぜ避難しないのか | 単独 | 2022年 3月 3日 | 名古屋西高等学校 | 社会人サポーター講演会 (オンライン) |
| 予想できない災害に向けて企業として備えるべきこと | 単独 | 2022年 3月 4日 | インフォコム(株) | ユーザー会2021 (オンライン収録) |
| 備えあれば憂いなし! あなたはどうする? 意外と知らない? 災害・防災知識! | 単独 | 2022年 3月 4日 | 法政大学 | 課外教養プログラムプロジェクト (オンライン) |
| 国難災害に備えるために実施した日本政府への働きかけ | 単独 | 2022年 3月15日 | JAPIC | JAPIC 防災委員会 (東京都中央区鉄鋼会館) |
| 大学で何を学ぶのか? そして大学の役割とは? | 単独 | 2022年 4月 4日 | 関西大学 | 社会安全学部新入生歓迎特別行事 (大阪府高槻市関西大学高槻ミュージャンパス) |

| | | | | |
|--|----|------------|----------------|---|
| 危機管理Ⅱ（災害危機管理） | 単独 | 2022年4月15日 | 総務省消防大学校 | 令和4年度危機管理国民保護コース講義（東京都調布市総務省消防大学校） |
| 災害の多発・激化時代に、安全で安心な生活を実現する知恵 | 単独 | 2022年4月18日 | 井植記念会 | 垂水文化講座（兵庫県神戸市井植記念館） |
| 大規模災害の被害の特徴とコミュニティFM局の役割 | 単独 | 2022年4月22日 | 日本コミュニティ放送協会 | JCBA 近畿地区協議会研修会（兵庫県姫路市イーグレひめじ） |
| 災害文化を育てよ、そして大災害に打ち克つて | 単独 | 2022年5月22日 | 兵庫県 | 県政報告会特別講演会（兵庫県加東市やしろ国際学習塾） |
| 日本水没～異常気象・温暖化のメカニズム～ | 単独 | 2022年6月7日 | 三田市生涯学習サポートクラブ | SSC 公開講座（兵庫県三田市さんだ市民センター） |
| 「相転移」を利用した南海トラフ巨大地震の被害軽減 | 単独 | 2022年6月9日 | 防犯防災総合展事務局 | 防犯防災総合展2022（大阪府大阪市インテックス大阪） |
| 「内閣防災省の最初の役割」 | 単独 | 2022年6月9日 | 関西広域連合 | 防犯防災総合展2022（大阪府大阪市インテックス大阪） |
| 大災害に打ち克つ災害文化 | 単独 | 2022年6月15日 | 震災対策技術展大阪事務局 | 震災対策技術展大阪（大阪府大阪市マイドームおおさか） |
| 豊かな時代に向かって“災害の被害”を考える | 単独 | 2022年6月15日 | LSO | LSO 市民フォーラム（大阪府大阪市マイドームおおさか） |
| 国難災害に備えるために憲法に緊急事態条項を明記する | 単独 | 2022年6月16日 | 震災対策技術展大阪事務局 | 震災対策技術展大阪（大阪府大阪市マイドームおおさか） |
| 変わる災害の被害と軽減方策 | 単独 | 2022年6月21日 | JAPIC | JAPIC 防災委員会（東京都中央区鉄鋼会館） |
| 都市巨大災害論 | 単独 | 2022年6月22日 | 人と防災未来センター | 春期災害対策専門研修EB（兵庫県神戸市人と防災未来センター） |
| わが国も衰亡につながる国難災害をいかに対処するか ～新たな被害軽減策と日本国憲法・法律改正～ | 単独 | 2022年6月22日 | 経済同友会 | 防災・震災復興委員会（オンライン） |
| 近年の自然災害の特徴とそれを活かした今後の対策 | 単独 | 2022年6月24日 | 防災ログ運営事務局 | 防災・減災セミナー2022福岡（福岡県福岡市アクロス福岡） |
| 危機対応組織論 | 単独 | 2022年6月28日 | 人と防災未来センター | 春期災害対策専門研修AD（兵庫県神戸市人と防災未来センター） |
| BCP(事業継続計画)セミナー 縮災対策編～パンデミック・新しい働き方時代に合わせた災害文明から災害文化への転換 | 単独 | 2022年7月6日 | NTT ドコモ | NTT ドコモBCP オンラインセミナー（大阪府大阪市NTT 西日本研修センター） |
| 企業経営に災害文化を反映する | 単独 | 2022年7月8日 | 京都労働基準局 | 令和4年度京都安全衛生大会（京都府京都市ロームシアター京都） |
| 国土強靱化から見た今後の電力・エネルギーの取組 | 単独 | 2022年7月12日 | 日本建設業連合会 | 電力・エネルギー工事委員会（東京都中央区鉄鋼会館） |
| 最近の風水害の変化と被害軽減策の提案～住民の新たな災害文化の醸成～ | 単独 | 2022年7月15日 | 香川県 | 県民防災シンポジウム（香川県高松市社会福祉総合センター） |
| 京都が発展するために必要な文化的防災・減災のすすめ | 単独 | 2022年7月27日 | 京都新聞社 | 京政経文化懇話会（京都府京都市京都ブライトンホテル） |
| 山形県における自然災害とその対応 | 単独 | 2022年8月2日 | 人と防災未来センター | トップフォーラム in 山形（オンライン） |
| 南海トラフ巨大地震や首都直下地震時に心配な「相転移」の発生と被害予防策 | 単独 | 2022年8月6日 | 日本歯科医師会 | 第19回警察歯科医会全国大会（大阪府大阪市シェラトン都ホテル大阪） |
| 最近の気象災害の特徴と防災 | 単独 | 2022年9月1日 | 神戸市中央消防局 | 中央防災講演会（兵庫県神戸市よみうり神戸ホール） |
| 「防災総論Ⅰ」「防災総論Ⅱ」 | 単独 | 2022年9月4日 | 福岡市 | 博多あん・あん塾（福岡県福岡市健康づくりサポートセンター） |
| 最近の気象災害の特徴と防災 | 単独 | 2022年9月15日 | 近畿地区内信用金庫協会 | 近畿しんきん経営大学第27期講座（大阪府大阪市信金中央金庫大阪支店） |
| DRA 活動のさらなる国際貢献 ～「防災絵本100年計画」の挑戦～ | 単独 | 2022年9月16日 | 国際防災・人道支援協議会 | 令和4年度 DRA 代表者会議・活動報告（兵庫県神戸市 JICA 関西） |
| 国家防災政策論 | 単独 | 2022年9月21日 | 国際都市研究学院 | 国際都市研究学院第13期講義（東京都港区政策研究大学院大学） |
| 災害文明の開発と災害文化の発展が縮災（Disaster resilience）に必須 | 単独 | 2022年9月22日 | JAPIC | JAPIC 防災委員会（東京都中央区鉄鋼会館） |

研究業績

| | | | | |
|--|----|-------------|------------------|--|
| 高齢者を災害に強くする災害文化 | 単独 | 2022年 9月23日 | 全国老人保健施設協会 | 第33回全国介護老人保健施設大会兵庫(兵庫県神戸市神戸国際会議場) |
| 危機管理総論 | 単独 | 2022年10月 | 日本危機管理士機構 | 危機管理士2級講座試験(オンライン収録) |
| 国難(パンデミック含む)と地域の災害に備える | 単独 | 2022年10月1日 | 兵庫県広域防災センター | ひょうご防災リーダー講座(兵庫県三木市兵庫県広域防災センター) |
| いつまでも住み続けたい姫路市を目指して～コロナ・パンデミックでわかった災害文化と災害文明の相乗効果～ | 単独 | 2022年10月2日 | 姫路市 | 姫路防災のつどい2022(兵庫県姫路市姫路市市民会館) |
| 災害に強いまちづくり | 単独 | 2022年10月3日 | 全国市町村国際文化研修所 | トップマネジメントセミナー(滋賀県大津市全国市町村国際文化研修所) |
| 避難指示が出てなぜ住民は避難しないのか | 単独 | 2022年10月11日 | 春日井市 | 春日井安全アカデミー(愛知県春日井市春日井市役所) |
| 都市巨大災害論 | 単独 | 2022年10月13日 | 人と防災未来センター | 災害対策専門研修EB(兵庫県神戸市人と防災未来センター) |
| 「地震、津波による災害」「自主防災活動と地区防災計画」 | 単独 | 2022年10月14日 | NTTラーニングシステムズ | NTT-LS防災土育成研修(愛知県名古屋市のアーバンネット名古屋ビル) |
| 国家防災政策論 | 単独 | 2022年10月15日 | 国際都市研究学院 | 国際都市研究学院講義(東京都港区国際都市研究学院) |
| 21世紀に国難災害がもたらす課題の全体像 | 単独 | 2022年10月22日 | 日本学術会議土木・建築委員会 | ぼうさいこくたい公開シンポジウム(兵庫県神戸市JICA関西) |
| 防災絵本100年計画の挑戦 | 単独 | 2022年10月24日 | 人と防災未来センター | 開設20周年記念式典・防災100年えほんキックオフフォーラム(兵庫県神戸市人と防災未来センター) |
| 国家防災政策論 | 単独 | 2022年10月26日 | 国際都市研究学院 | 国際都市研究学院講義(東京都港区国際都市研究学院) |
| 内閣防災省の最初の役割 | 単独 | 2022年11月5日 | NPO法人健康まちづくり推進協会 | 防災市民サミット2022(兵庫県神戸市兵庫県民会館) |
| トップフォーラム in 富山 | 単独 | 2022年11月11日 | 富山県 | トップフォーラム in 富山(兵庫県神戸市人と防災未来センター) |
| 防災体制について学ぶ | 単独 | 2022年11月19日 | 四日市市 | 四日市市防災講座(三重県四日市市四日市市総合会館) |
| 首都直下地震などの国難災害から我が国を守る | 単独 | 2022年11月28日 | 財務省 | 財務省職員トップセミナー(オンライン) |
| 「事前対策」で備える 巨大被害をもたらす「相転移」の発生を防げるか | 単独 | 2022年11月28日 | (独)都市再生機構 | UR防災セミナー(大阪府大阪市大阪市立阿倍野区民センター小ホール) |
| 南海トラフ地震による被害想定 | 単独 | 2022年11月29日 | 兵庫県立大学 | 兵庫県立大学講義 減災復興政策論Ⅱ |
| BCP(事業継続計画)セミナー 縮災対策編～パンデミック・新しい働き方時代に合わせた災害文明から災害文化への転換 | 単独 | 2022年12月1日 | NTTドコモ | NTTドコモBCPオンラインセミナー(大阪府大阪市NTT西日本研修センター) |
| 自然災害に強い社会をめざして～最近の自然災害の教育から～ | 単独 | 2022年12月2日 | 消防防災科学センター | 防災啓発中央研修会(オンライン) |
| 災害にレジリエントな地域をつくる | 単独 | 2022年12月6日 | 兵庫県立大学 | 兵庫県立大学講義 減災復興政策論Ⅱ |
| 首都直下地震など国難災害からわが国を守る ～11月28日実施財務省トップセミナーより～ | 単独 | 2022年12月7日 | JAPIC | JAPIC防災委員会(東京都中央区鉄鋼会館) |
| 茨城県でこれから起こる災害に対処する | 単独 | 2022年12月8日 | 茨城県歯科医師会 | 茨城県歯科医師会防災講演会(茨城県水戸市茨城県歯科医師会館) |
| SDGsを目指した建設コンサルタントの望ましい姿 ～災害多発・激化時代に対処する～ | 単独 | 2022年12月13日 | ㈱ニュージェック | ㈱ニュージェック防災講演会(大阪府大阪市ニュージェック大阪本社) |
| 南海トラフ大地震を国難災害としない取組 | 単独 | 2022年12月20日 | 関西サイエンスフォーラム | 地震予知研究オンラインシンポジウム(大阪府大阪市大阪府立国際会議場) |
| 異常気象時代における医療機関の水害対策 | 単独 | 2022年12月20日 | 埼玉県保険医協会 | 埼玉県保険医協会創立50周年記念事業3つの基本方針講演会「EBM」(オンライン) |
| (河田防災塾) | | | | |
| 東日本大震災の復興と失敗原因 | 単独 | 2022年 1月27日 | 関西大学 | 河田防災塾(大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス) |
| 国難災害と国難克服府の創設 | 単独 | 2022年 2月24日 | 関西大学 | 河田防災塾(大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス) |

| 自助で災害文化を豊かにする | 単独 | 2022年3月24日 | 関西大学 | 河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス） |
|--|---------------|-------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 相転移を利用した大災害の縮小対策の原理 | 単独 | 2022年6月23日 | 関西大学 | 河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス） |
| 1945年枕崎台風と広島県の土砂災害 | 単独 | 2022年7月28日 | 関西大学 | 河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス） |
| 1948年カスリーン台風と利根川氾濫 | 単独 | 2022年9月29日 | 関西大学 | 河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス） |
| 1950年ジェーン台風と高潮氾濫 | 単独 | 2022年11月24日 | 関西大学 | 河田防災塾（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス） |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科学研究費基盤研究 (B) | 代表 | 2022～2024 | 6,390 (19,910) | 相転移を回避するための南海トラフ地震による長期停電の新たな防災対策 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本災害情報学会（元会長）、名誉会員 | | | | |
| 日本自然災害学会（元会長）理事、評議員 | | | | |
| 土木学会名誉会員・フェロー | | | | |
| 日本地震工学会 | | | | |
| 日本自治体危機管理学会 | | | | |
| 日本災害復興学会 | | | | |
| 地域安全学会 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 日本自然災害学会、評議員 | | | | |
| 内閣府、中央防災会議「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ」座長 | | | | |
| 大阪府、大阪府防災会議委員 | | | | |
| 大阪市、大阪港地震・津波対策連絡会議、オブザーバー | | | | |
| 兵庫県、災害救急医療システム運営協議会委員 | | | | |
| 兵庫県、ひょうご安全の日推進県民会議 企画委員長 | | | | |
| 兵庫県、防災教育副読本改訂検討委員会 委員長 | | | | |
| 兵庫県、兵庫県防災会議委員 | | | | |
| 三重県、防災会議専門部会「防災・減災対策検討会議」委員 | | | | |
| 三重県、政策アドバイザー | | | | |
| 奈良県、地域防災計画検討委員会 委員長 | | | | |
| 岡山県、防災アドバイザー | | | | |
| 高知県、南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー | | | | |
| 関西広域連合、関西広域防災計画策定委員会 委員長 | | | | |
| 関西広域連合、広域計画等推進委員会 委員 | | | | |
| 鳥取県、鳥取県政アドバイザーリースタッフ | | | | |
| 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 経営諮問会議 委員長 | | | | |
| 東北大学、災害科学国際研究所共同利用・共同研究運営委員会 委員 | | | | |
| 全国知事会地方自治先進政策センター、頭脳センター専門委員 | | | | |
| (一財) 防災研究協会、業務運営委員 | | | | |
| (財) 日本プロジェクト産業協議会、日本創成委員会/防災委員会 委員長 | | | | |
| (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 | | | | |
| (公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査部「南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究会」委員 | | | | |
| (公財) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員 | | | | |
| (公財) 兵庫県住宅再建共済基金運営協議会委員 | | | | |
| 濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）選考委員会 委員長 | | | | |
| 世界発信コンペティションサービス部門審査会委員 | | | | |
| (公財) 計算科学振興財団 評議員 | | | | |

研 究 業 績

㈱新興出版社啓林館 小・中学校教科書監修, 執筆
タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議 技術顧問

(その他業績として記載を希望する事項)

河川功労者表彰 (公益社団法人 日本河川協会)

兵庫県立大学特任教授 (2017年～)

人と防災未来センター センター長 (2002年～現在)

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 理事長

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 理事長

特定非営利活動法人 人・家・街 安全支援機構 理事長

■ 安部 誠治

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|---------|----------------|---|
| (論文) 本書の総括と COVID-19災害の展望 | 単著 | 2022年3月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19災害』285-298頁 |
| 主要国の内航海運政策の動向とわが国への示唆 | 共著 | 2022年3月 | 公益事業学会 | 『公益事業研究』第201号、59-67頁、竹本七海 |
| (その他、論考・研究資料等) 無人駅における視覚障害者の事故防止策に関する提案 | 共著 | 2022年3月 | 関西大学社会安全研究センター | 『社会安全学研究』第12巻、83-102頁、尾原柊 |
| 鉄道事業における計画運休の現状と課題 | 共著 | 2022年6月 | 大阪公共交通研究所 | 『都市と公共交通』No.46、5-15頁、井原涼太 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 公益事業学会(理事)、失敗学会(理事)、日本交通学会、交通権学会、日本リスクマネジメント学会、鉄道史学会、日本安全学教育研究会 | | | | |
| (社会貢献活動) 仙台市タクシー準特定地域協議会会長(継続) 事業用自動車事故調査委員会委員(継続) トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪府地方協議会会長(継続) 国土交通省・軽井沢スキーバス事故フォローアップ会議委員(継続) 自動車事故対策機構指導講習業務検討委員会委員(継続) 関西大学評議員(継続) 東京地下鉄株式会社・八丁堀駅お客様発見遅れに関する再発防止対策推進委員会委員長(新規) 国土交通省・知床遊覧船事故対策検討委員会委員(新規) 全但バス株式会社経営アドバイザー(新規) | | | | |

研究業績

■ 一 井 康 二

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| (著書) 地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法——ガイドラインとその実践事例—— | 分担執筆 | 2022年1月 | 土木学会 | 地震工学委員会「地盤・構造物の非線形地震応答解析法の妥当性確認／検証方法に関する小委員会」及び応用力学委員会「土木分野の数値解析におけるV&Vに関する小委員会」編、第2編2.2節(p.112-122)、4.3.1項(p.191-219) |
| 検証COVID-19災害 | 分担執筆 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編、第2章(p.27-42) |
| (学術論文) 災害時の非常用燃料供給における課題抽出 | 共著 | 2022年3月 | 関西大学社会安全研究センター | 社会安全学研究, Vol.12, 査読有, 奥村与志弘・伊藤大輔, p.21-30. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (招待講演) 2.2.2節 検証事例、および、4.3.1項 被災事例、実験を対象とした護岸構造物の非線形地震応答解析の妥当性確認事例(その1:被災事例を対象とした検討) | 単独 | 2022年2月4日 | 土木学会 | 「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法——ガイドラインとその実践事例——」に関する報告会, Zoom |
| 2.2.2節 検証事例、および、4.3.1項 被災事例、実験を対象とした護岸構造物の非線形地震応答解析の妥当性確認事例(その1:被災事例を対象とした検討) | 単独 | 2022年10月20日 | 土木学会 | 「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法——ガイドラインとその実践事例——」に関する講習会, Zoom |
| 地震災害と地盤災害のリスクに関するいくつかの視点～広島大学での経験から～ | 単独 | 2022年10月24日 | 地盤工学会 | 地盤工学会中国支部第1回講演会, Zoom |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト | 分担 | 2022年10月12日 ～ 2023年3月24日 | 34,320 | AI, IoTを始めとした新技術等を活用して土木又は建築工事における施工の労働生産性の向上を図る技術(株式会社加藤組, 株式会社EARTHBRAIN, コマツカスタマーサポート株式会社, 西尾レントオール株式会社, 関西大学による研究コンソーシアムによる研究プロジェクト) |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 土木学会, 地盤工学会, 日本地震工学会, 日本地すべり学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 一般社団法人FLIPコンソーシアム, 理事および特別顧問 土木学会地震工学委員会, 委員 土木学会地震工学委員会, 地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関する研究小委員会 土木学会調査研究部門, 原子力土木委員会, 技術文書審議タスクメンバー(地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会担当) 関西ライフライン研究会, 座長 第8回ICEGE(国際地盤地震工学会議)実行委員会, 幹事(総務部会長) 一般財団法人沿岸技術研究センター, 令和4年度海洋・港湾構造物維持管理資格制度, 講習・研修小委員会, 委員 中部電力株式会社原子力安全技術研究所, アドバイザリ・コミッティ委員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 日本BCP株式会社との共同研究 ジオ・サーチ株式会社との共同研究 | | | | |

■ 伊藤大輔

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) 体調検知・事故回避技術利用による疾病患者の運転に対する一般市民の社会受容性調査 | 共著 | 2022年2月 | 日本交通科学学会 | 日本交通科学学会誌, Vol.21, No.2, 23-33, 國行浩史(査読あり) |
| 災害時の非常用燃料供給における課題抽出 | 共著 | 2022年3月 | 関西大学社会安全研究センター | 社会安全学研究 第12巻, 21-30, 一井康二, 奥村与志弘(査読あり) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 体調急変時の自動車緊急停止スイッチ仕様の一考察 | 共同 | 2022年6月28日 | 日本交通科学学会 | 第58回日本交通科学学会学術講演会, オンライン |
| FRAMモデルを用いた運転行動の表現と事故・ヒヤリハット発生要因の分析 | 共同 | 2022年10月14日 | 自動車技術会 | 自動車技術会2022年秋季大会, グランキューブ大阪 |
| 人体有限要素モデルを用いた本棚転倒時の傷害発生メカニズム分析 | 共同 | 2022年12月17日 | 日本機械学会 | 第33回バイオフロンティア講演会, 神戸大学 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・若手研究 | 代表 | 2020~2022年度 | 500千円 (4,030千円) | 実事故データ分析に基づく交通弱者保護のための統合安全技術評価方法の構築 |
| 日本学術振興会「基盤研究(C)」及び「若手研究」における独立基盤形成支援(試行) | 代表 | 2020~2022年度 | 300千円 (3,000千円) | 実事故データ分析に基づく交通弱者保護のための統合安全技術評価方法の構築 |
| 関西大学若手研究者育成経費 | 代表 | 2022~2023年度 | 1,400千円 (1,500千円) | 深層学習を用いたドライブレコーダ映像からの危険箇所の予測による運転行動への影響評価 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本機械学会 | | | | |
| 自動車技術会 | | | | |
| 日本交通科学学会 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 自動車技術会 インパクトバイオメカニクス部門委員会 幹事(2016.04~ 継続中) | | | | |
| 自動車技術会 前突分科会 委員(2016.04~ 継続中) | | | | |
| 自動車技術会 側突分科会 委員(2016.04~ 継続中) | | | | |
| 自動車技術会 歩行者保護分科会 委員(2016.04~ 継続中) | | | | |
| 自動車技術会 学術講演会運営委員会 委員(2020.11~ 継続中) | | | | |
| 日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 代議員(2021.04~ 継続中) | | | | |
| 日本交通科学学会 評議員(2021.07~ 継続中) | | | | |

研究業績

■ 奥村 与志弘

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|----------------------|--|
| (著書) 地震津波 | 分担 | 2022年1月25日 | 丸善出版 | 日本自然災害学会編「自然災害科学・防災の百科事典」(「3章 地震災害」内), pp.104-105. |
| 想定被害 | 分担 | 2022年1月25日 | 丸善出版 | 日本自然災害学会編「自然災害科学・防災の百科事典」(「6章 津波災害」内), pp.250-251. |
| 災害対応上の課題 | 分担 | 2022年1月25日 | 丸善出版 | 日本自然災害学会編「自然災害科学・防災の百科事典」(「6章 津波災害」内), pp.252-253. |
| (学術論文) 災害時の非常用燃料供給における課題抽出 | 共著 | 2022年3月 | 関西大学社会安全学部社会安全研究センター | 一井康二, 伊藤大輔, 社会安全学研究, 第12巻, 21-30. 査読有 |
| Establishment-level Simulation of Supply Chain Disruption: The case of the Great East Japan Earthquake | 共著 | 2022年6月 | RIETI | INOUE Hiroyasu, TORAYASHIKI Tetsuya and TODO Yasuyuki: RIETI Discussion Paper Series, 22-E-059. 査読有 |
| 周波数変換設備(FC)を介した電力融通を担う送電線の富士山噴火リスクと増強計画の問題点 | 共著 | 2022年8月 | エネルギー・資源学会 | 橋富彰吾, 寅屋敷哲也, 中林啓修, 井上寛康, 河田恵昭, 第41回エネルギー・資源学会研究発表会講演論文集(CD-ROM). |
| Estimating Impact of the Reality-of-Evacuation-Start (RES) Sources in Indonesia | 共著 | 2022年11月01日 | JSCE | Karina A. SUJATMIKO, and Jo OHTANI, JJSCE, Ser.B2, Coastal engineering, Vol.78, No.2, I_307-I_312. 査読有 |
| 住民を取り巻く状況の変化と避難開始の関係 | 共著 | 2022年11月01日 | 土木学会 | 高井環, Karina A. SUJATMIKO, 土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.78, No.2, I_343-I_348. 査読有 |
| 国際疾病分類を用いた災害関連死と持病・既往症の関係分析 | 共著 | 2022年11月 | 地域安全学会 | 山崎健司, 地域安全学会論文集, No.41, pp.43-50. 査読有 |
| (その他, 論考・研究資料等) SDGsから考える防災・減災 | 単著 | 2022年2月21日 | 産経新聞社 | 『産経新聞』夕刊2面, 関大社会安全学部リレーコラム |
| 災害に強く生まれ変わる | 単著 | 2022年6月20日 | 産経新聞社 | 『産経新聞』夕刊2面, 関大社会安全学部リレーコラム |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 日本とインドネシアにおける避難トリガーの比較研究 | 共同 | 2022年9月18日 | 自然災害学会 | 山科華奈, Karina A. SUJATMIKO, 高井環, 第41回自然災害学会学術講演会, I-3-4, 立命館大学草津キャンパス(滋賀県・草津市). |
| 気仙沼市における2011年東日本大震災による関連死の実態把握 | 共同 | 2022年9月18日 | 自然災害学会 | 山崎健司, 第41回自然災害学会学術講演会, II-4-6, 立命館大学草津キャンパス(滋賀県・草津市). |
| 関連死発生プロセスの可視化に関する検討 | 共同 | 2022年9月18日 | 自然災害学会 | 栗田直樹, 山崎健司, 川崎雄大, 上田千晃, 第41回自然災害学会学術講演会, II-4-7, 立命館大学草津キャンパス(滋賀県・草津市). |
| 住民を取り巻く状況の変化と避難開始の関係に関する一考察 | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 高井環, 地域安全学会梗概集, No.51, pp.111-112, 静岡県地震防災センター(静岡県静岡市). (ポスター発表) |
| 風水害と交通事故の対策効果の比較研究 | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 石田晴香, 地域安全学会梗概集, No.51, pp.127-128, 静岡県地震防災センター(静岡県静岡市). (ポスター発表) |

社会安全学研究 第13巻

| | | | | |
|---|----|-------------|----------------------------------|---|
| 津波避難開始行動の比較研究：訓練・意向調査・実災害 | 共同 | 2022年12月16日 | 日本地震工学会 | 山本桃華, 日本地震工学会・大会—2022, B-22-5, 北海道大学(北海道札幌市) |
| 対策効果に関する自然災害と人為災害の横断的分析 | 共同 | 2022年12月22日 | 関西大学他 | 石田晴香, 第12回巨大津波災害に関する合同研究集会, 関西大学梅田キャンパス(大阪府大阪市). |
| 住民を取り巻く状況の変化が避難開始に及ぼす影響 | 共同 | 2022年12月22日 | 関西大学他 | 高井環, 第12回巨大津波災害に関する合同研究集会, 関西大学梅田キャンパス(大阪府大阪市). |
| 気仙沼市関連死等申立書を用いた関連死発生プロセスの可視化 | 共同 | 2022年12月23日 | 関西大学他 | 山崎健司, 第12回巨大津波災害に関する合同研究集会, 関西大学梅田キャンパス(大阪府大阪市). |
| 南海トラフ巨大地震との向き合い方を考える | 共同 | 2022年12月23日 | 関西大学他 | 第12回巨大津波災害に関する合同研究集会, 関西大学梅田キャンパス(大阪府大阪市). |
| (招待講演) 地震災害と関連死 | 単独 | 2022年6月18日 | 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター | 2022年度北海道大学公開講座「北海道の地震と防災」, 北海道大学理学部3号館 |
| 災害多発時代における企業の可能性～奈良だからできることを考える～ | 単独 | 2022年6月23日 | 奈良経済同友会 | 奈良経済同友会2022年度6月例会講演, ホテル日航奈良 |
| 梅田・南トラ研究会が目指す大阪・関西の姿 | 単独 | 2022年6月29日 | 関西大学・うめだ南トラ研究会 | 令和4年度第1回うめだ南トラ研究会, 関西大学梅田キャンパス |
| 事故と災害——複眼的思考で見えること—— | 単独 | 2022年7月11日 | 鹿児島大学大学院理工学研究科 | 先端科学特別講義, 鹿児島大学都元キャンパス稲盛会館 |
| アフターコロナの安全・安心社会を展望する | 単独 | 2022年7月13日 | 関西大学 | 併設高等学校との連携プログラム, 関西大学高等部 |
| 安全安心な未来をつくる | 単独 | 2022年7月14日 | 田原市教育委員会 | 田原市教育委員会「防災キャン事業」特別授業, 田原市立清田小学校 |
| 事故と災害の比較研究——南海トラフ巨大地震を見据えて取り組むべき課題とは—— | 単独 | 2022年7月22日 | 災害対応研究会と関西大学社会安全研究センター | Joint Seminar 減災, 関西大学梅田キャンパス |
| なぜ水害による犠牲は繰り返されるのか？ | 単独 | 2022年7月23日 | 高槻市三箇牧公民館・三箇牧地区防災会 | 防災減災講座, 高槻市三箇牧公民館 |
| 南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震のメカニズムとその対策 | 単独 | 2022年7月30日 | 兵庫県丹波県民局 | 丹波地域ひょうご防災リーダー講座, 丹波市やまなみホール |
| Tsunami Disaster Reduction | 単独 | 2022年8月8日 | Institut Teknologi Bandung (ITB) | Online, International Virtual Course 2022 “Marine Hazards and Coastal Degradation in a Changing Climate”. |
| 国難災害を迎え打つための企業の役割 | 単独 | 2022年9月5日 | BERC(経営倫理実践研究センター) | BERC関西支部会・講演, 関西大学梅田キャンパス |
| Future Civil Engineering with AI and DX | 共同 | 2022年9月16日 | 土木学会 | International Workshop for Young Engineers, 京都大学 百周年時計台記念館 |
| ホンネで語ろう「これからの関西の防災」 | 共同 | 2022年10月20日 | 自然災害学会 | 第3回ホンネで語ろう「ほうさい」(気分は)イブニングカフェ(世話人), 高槻市安満遺跡公園内レストランファーマーズクラブ |
| 安全・安心イノベーション創出に向けた大阪うめだ地区の挑戦 | 単独 | 2022年10月23日 | 関西大学 | ほうさい国体2022, JICA 関西 |
| コロナ禍と防災・減災 | 単独 | 2022年11月1日 | 中国地方建設技術交流会実行委員会 | 中国地方建設技術開発交流会, オンライン |
| 南海トラフ巨大地震が発生するとどうなるか？ | 単独 | 2022年11月17日 | 兵庫県教育委員会 | 西淡中学校 |
| あわじの未来を見据えた防災・減災 | | 2022年12月7日 | 淡路消防保安協会・兵庫県淡路県民局 | 令和4年度防災講演会, 洲本市文化体育文化ホール |
| 南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震——発生メカニズムと対策について—— | 単独 | 2022年12月10日 | 兵庫県広域防災センター | 令和4年度ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県広域防災センター講堂. |
| UMEDA から見出し, 生み出し, 拡げていく新たな生活価値 | 単独 | 2022年12月13日 | 株式会社トクヤマ | 株式会社トクヤマ大阪オフィス |

研 究 業 績

| 昨今の自然・人為災害と防災 | 単独 | 2022年12月19日 | 伏見の防災を考える会 | 令和3年度伏見連続講座，伏見区役所 |
|--|---------------|-------------|--------------------------------|--|
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 文部科学省科学研究費補助金・国際共同研究 加速基金(国際共同研究強化(B)) | 分担 | 2020年～2023年 | 1,200 (3,600) | インドネシアにおける仮想津波観測実験 — 海洋レーダ津波防災活用技術の飛躍 的發展 |
| 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B) | 分担 | 2022年～2024年 | 700 (2,000) | 相転移を回避するための南海トラフ地震 による長期停電の新たな防災対策 |
| 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B) | 分担 | 2022年～2024年 | 500 (1,300) | 多様な発生形態を有する南海トラフ地震 に対応可能なライフライン防災に関する 研究 |
| 日本BCP株式会社 共同研究 | 代表 | 2021年～2022年 | 1,000 | 「南海トラフ巨大地震等を想定した防災サ ービス事業者の防災・減災事業展開の具 体化」における研究 |
| なにわ大阪研究センター公募研究 | 分担 | 2021年～2022年 | 0 (1,000) | 大阪の災害の実態解明とデジタルメディ ア技術を用いた防災教育 |
| 関西大学教育研究高度化促進費 | 分担 | 2020年～2022年 | 0 (350) | SDGsの達成に資する統一的な防災対策 の構築 |
| 以下，フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本土木学会 | | | | |
| 日本自然災害学会 | | | | |
| 日本災害情報学会 | | | | |
| 日本地震学会 | | | | |
| 地域安全学会 | | | | |
| AGU(アメリカ地球物理学連合) | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 1. 学会 | | | | |
| 土木学会 地震工学委員会『土木学会地震工学論文編集小委員会』委員 | | | | |
| 土木学会 国際部門国際センター『留学生グループ』委員 | | | | |
| 地域安全学会『学術委員会』委員 | | | | |
| The IUGG Joint Tsunami Commission Member | | | | |
| 2. 地方自治体 | | | | |
| 兵庫県教育委員会『学校安全(防災)総合支援事業』学校防災アドバイザー | | | | |
| 南あわじ市『兵庫県南あわじ市防災会議』委員 | | | | |
| 南あわじ市『福良地区円卓会議』座長 | | | | |
| 田原市『愛知県田原市防災会議』委員 | | | | |
| 田原市教育委員会『田原校区みんな参加の防災キャンプ実行委員会』アドバイザー | | | | |
| 高槻市教育委員会，小中学校用安全教育副読本の作成に係るアドバイザー | | | | |
| 3. その他の委員など | | | | |
| 人と防災未来センター『災害メモリアルアクション神戸実行委員会』委員 | | | | |
| ひょうご震災記念21世紀研究機構『南海トラフ地震及び首都直下地震を対象とした被害軽減に関する研究』研究会委員 | | | | |
| 朝日新聞名古屋本社・日本赤十字社『子ども新聞プロジェクト』アドバイザー | | | | |
| NPO法人 大規模災害対策研究機構 理事 | | | | |
| (客員教員・非常勤講師) | | | | |
| 愛媛大学 客員教授 | | | | |
| 神戸学院大学 現代社会学部 非常勤講師 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| 報道・取材協力 | | | | |
| R04.06.20:産経新聞「災害に強く生まれ変わる」夕刊2面，関大社会安全学部リレーコラム. | | | | |
| R04.07.24:FM大阪「はようさいてらす『現役関大生がお届けする新コーナー，はじまります!』」7:45～8:00. | | | | |

R04.09.03：新建新聞社，リスク対策.com「事故と災害の比較研究 南海トラフ巨大地震を見据えて取り組むべき課題とは（Joint Seminar 減災2022 第2回シンポジウム 関西大学社会安全学部教授 奥村与志弘氏の講演より）」。

R04.12.13：神戸新聞「津波避難の教訓親しみやすく伝え，備えを インドネシアに100年伝わる歌紹介 南あわじで防災フォーラム」朝刊25面，コメント。

R04.12.22：朝日新聞「(明日へのLesson) 枠にとらわれない，災害に強い社会作り 防災の価値 ビジネス視点で模索」朝刊27面。

研究業績

■ 亀井克之

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|-----------------------|---|
| (著書) フランス映画に学ぶリスクマネジメント 人生の岐路と決断 | 共著 | 2022年4月 | ミネルヴァ書房 | 杉原賢彦との共著、251p. |
| (分担執筆) 企業への影響・対策 | 分担執筆 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 高野一彦との共著、関西大学社会安全学 部編『検証 COVID-19災害』第10章、 pp.178-202. |
| リスクマネジメントの基本 | 分担執筆 | 2022年3月 | 経済法令研究会 | 『銀行業務検定試験公式テキスト 金融 リスクマネジメント 2級 22年6月受 験用』、第1編、pp.2-45 |
| (学術論文) 中小企業経営者の職業性ストレス尺度の開 発—インターネットによる予備調査にお ける尺度分析の結果— | 共著 | 2022年3月 | 桃山学院教育大学 | 栗岡住子、馬ノ段梨乃、尾久裕紀、オリ ヴィエ・トレス『桃山学院教育大学研究 紀要』(3)、pp.29-45(査読有) |
| フランスにおける事業承継・ファミリービ ジネス研究の新潮流 | 単著 | 2022年3月 | 関西大学経済・政治 研究所 | 『セミナー年報2021』pp.71-78.(査読なし) |
| 企業リスクマネジメント論から見た原発事 故由来処理水の海洋放出に関する報道 (2021年4月-2022年3月)について | 単著 | 2022年6月 | 水資源・環境学会 | 『水資源・環境研究』第35巻(1)、特集論 説、pp.24-31、DOI https://doi.org/10.6012/jwei.35.24 (招待論文、査読なし) |
| フランス企業の経営戦略とリスクマネジメント —2012年秋のフランス在外研究より— | 単著 | 2022年9月 | ソーシル・リスクマ ネジメント学会 | 『実践 危機管理』第37号、pp.38-50.(査 読なし) |
| (ケース) コート・ロティ、ギガルのケース | 単著 | 2022年7月 | 事業承継学会 | 『事業承継』Vol.11、pp.200-209. |
| (論考・研究資料等) リーダーは短期的利益だけでなく長期的視 点で守るべきものは何かを判断すべきだ | 単著 | 2022年5月 | ダイヤモンド社 | 『Harvard Business Review』2022年5月 号、特別広告企画「ポストコロナ時代の リスク&クライシスマネジメント」、2022 年4月8日 https://dhbr.diamond.jp/ articles/-/8483 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会研究報告) 現代企業におけるリスク情報の開示の意義 | 単独 | 2022年6月11日 | 日本リスクマネジメ ント学会 | 関西部会、統一論題「復元力と幸福経営 を生むリスクマネジメント」関西大学高 槻ミュージックキャンパス |
| フランス映画に学ぶリスクマネジメントと その可能性 | 共同 | 2022年7月22日 | 日本リスクマネジメ ント学会 | 杉原賢彦との共同報告、共催(公財)日 仏会館、科学研究費基盤(B)、関西大学 経済・政治研究所 関西ファミリービジ ネスのBCMと東アジア戦略研究班、関 西大学と堺市の地域連携事業、日仏会館 ホール |
| フランス企業の経営戦略とリスクマネジメント —2021年秋のフランス在外研究より— | 単独 | 2022年7月23日 | ソーシャル・リスク マネジメント学会 | 関西部会、大阪市中央公会堂 |
| ファミリービジネスにおける娘による承継:理 論と事例 | 共同 | 2022年10月15日 | ファミリービジネス 学会 | シグルン・カスバリとの共同報告、第15 回全国大会、統一論題「ファミリービジ ネスの伝統と革新」、静岡文化芸術大学 |
| (研究報告・講演) 追悼・大西正曹名誉教授の『VUCA時代に 挑む中小企業』論 | 単独 | 2022年6月10日 | 関西大学経済・政治 研究所 | 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア 戦略研究班公開セミナー、関西大学梅田 キャンパス4Fラボ、 https://youtu.be/ LsLaK3B-32o |
| コロナ禍における中小企業のBCMと経営 者の健康 2021年秋・日仏共同調査より | 共同 | 2022年6月18日 | 関西大学経済・政治 研究所 | 堀越昌和との共同報告、第250回産業セミ ナー、関西ファミリービジネスのBCMと 東アジア戦略研究班、関西大学梅田キャン パス ホール |

社会安全学研究 第13巻

| | | | | |
|--|----|-------------|--|---|
| フランス映画に学ぶリスクマネジメント | 単独 | 2022年7月14日 | 関西大学社会安全学部リスクマネジメント研究室 | 共催 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 関西大学東京センター会議室 |
| フランス在外研究から | 単独 | 2022年7月30日 | 関西大学社会安全学部リスクマネジメント研究室 | 関西大学高槻ミュージックキャンパス |
| 学生生活とリスク/ファミリービジネス後継者と学生生活——日本とドイツの比較 | 共同 | 2022年10月5日 | 関西大学経済・政治研究所 | 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班公開セミナー, 関西大学千里山キャンパス第3学舎ソシオAV大ホール |
| 女性による事業承継 | 単独 | 2022年10月7日 | 関西大学地域連携センター・堺市と関西大学との地域連携事業「堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業承継」 | 2022年度 堺市と関西大学との地域連携事業講演会, 共催 関西大学経済・政治研究所, 科学研究費基盤(B), 後援 ファミリービジネス学会, 南海グリル東店 |
| 気仙沼とフランスをつないで——事業承継を考える—— | 単独 | 2022年12月1日 | NPO 京都コミュニティ放送 | VUCA時代に挑む中小企業, FM79.7 京都三条 ラジオカフェ, https://radiocafe.jp/202108002/episodes/2022-12-10a/?mode=results |
| (招待講演) リスクマネジメント | 単独 | 2021年7月15日 | 日新火災 | 日新火災リーダー研修, 日新火災海上保険株式会社本社 |
| マラソン大会について | 単独 | 2022年8月23日 | 大阪経済大学 | スポーツボランティア実習, 大阪経済大学 |
| リスクマネジメント | 単独 | 2022年11月30日 | 堺市教育委員会 | リスクマネジメント研修, 堺市役所 |
| (総合司会・通訳・講演動画制作) 上田和勇「復元力と幸福経営を生むリスクマネジメントとBCM」 | 単独 | 2022年3月14日 | 関西大学経済・政治研究所 | (総合司会・動画制作) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班公開研究会(公開セミナー), 関西大学東京センター, https://youtu.be/xpd5ISs7K3k |
| 陶徳民「中国における商売軽蔑の思想源流と家業継承の現状について」他 | 単独 | 2022年3月25日 | 関西大学経済・政治研究所 | (総合司会・動画制作) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班公開研究会(公開セミナー), 関西大学児島惟謙館会議室, https://youtu.be/JnJzQLxLyHE (陶講演動画) |
| 江連裕子「これが私の生きる道」 | 単独 | 2022年5月11日 | 関西大学 | (司会) 関西大学「学の実化」講座, 第2回, 関西大学尚学館マルチメディアAV大ホール |
| 津島晃一「事業承継と個人保証」他 | 単独 | 2022年6月10日 | 関西大学経済・政治研究所 | (総合司会・動画制作) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班公開セミナー, 関西大学梅田キャンパス4Fラボ, https://youtu.be/Owg-JthHegg (津島講演) |
| コロナ禍におけるファミリー企業の経営戦略, 徐聖錫他 | 単独 | 2022年6月18日 | 関西大学経済・政治研究所 | (第一部総合司会) 第250回産業セミナー, 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 関西大学梅田キャンパスホール |
| 杉原賢彦「映画に学ぶ危機管理」 | 単独 | 2022年7月2日 | 関西大学経済・政治研究所 | (総合司会) 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班研究会, 関西大学高槻ミュージックキャンパスミュージックホール |
| オリビエ・トレス「経営者の健康 Santé du dirigeant —— コロナ禍におけるフランス AMAROK の活動と日仏共同調査の結果 ——」他 | 共同 | 2022年7月4日 | 科学研究費基盤(B) | (総合司会・通訳・動画制作) 共催 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 関西大学東京センター会議室, http://www.observatoire-amarok.net/sites/wordpress/index.php/espace-numerique/ (トレス講演動画, シャンセルム講演動画) |
| 山川景子「人生100年時代の学びとは ～若者から見た日本の未来予想図をとまに考える～」 | 単独 | 2022年7月6日 | 関西大学 | (司会) 関西大学「学の実化」講座, 第4回, 関西大学尚学館マルチメディアAV大ホール |
| シグルン・カスバリ「ドイツにおけるコロナ対応」 | 単独 | 2022年9月23日 | 日本リスクマネジメント学会 | (司会) 日本リスクマネジメント学会第47回全国大会, 東京エレクトロンホール宮城大会議室 |

研究業績

| | | | | |
|--|---------------|----------------------|---|---|
| シグルン・カスバリ「ファミリービジネスにおける事業承継」 | 単独 | 2022年10月5日 | 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班 | (総合司会) 2022年度関西大学経済・政治研究所 外国人招へい研究者 講演会, 共催 堺市と関西大学の地域連携事業, 「堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業継承」, 科学研究費 基盤研究 (B) 「被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究」 関西大学児島惟謙館 |
| 「堺市の元気なファミリービジネスと事業承継 女性による事業承継に注目して」西浦結香他 | 単独 | 2022年10月7日 | 関西大学地域連携センター・堺市と関西大学との地域連携事業「堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業承継」 | (総合司会) 2022年度堺市と関西大学との地域連携事業講演会, 共催 関西大学経済・政治研究所, 科学研究費基盤 (B), 後援 ファミリービジネス学会, 南海ダリル東店 |
| ペランジェール・デシャン, 及川秀子「事業承継を考える日仏公開討論会「フランスと気仙沼をつないで」」 | 単独 | 2022年10月31日 | 科学研究費基盤(B), 関西大学地域連携センター・堺市と関西大学との地域連携事業 | (総合司会・通訳) 共催 関西大学経済・政治研究所, 後援 日本リスクマネジメント学会, ファミリービジネス学会, 気仙沼市, 助成 笹川日仏財団, 気仙沼市役所ワンテン庁舎ホール |
| (第2回) 中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム, ペランジェール・デシャン他 | 単独 | 2022年11月3日 | 科学研究費基盤(B), 関西大学地域連携センター・堺市と関西大学との地域連携事業 | (総合司会・動画制作) (公財) 日仏会館, 科学研究費基盤 (B), 共催 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリー・ビジネスのBCMと東アジア研究班, 堺市と関西大学の地域連携事業「堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業継承」, 後援 日本リスクマネジメント学会, ファミリービジネス学会, 事業承継学会, 助成 笹川日仏財団, 日仏会館ホール, https://youtu.be/RHerOqtnxB0 (デシャン講演動画) |
| ラファエル・ヴィアル, レイチェル・イーヴン「フランスのヘルスケア分野デジタルアート」 | 単独 | 2022年11月18日 | なごやヘルスケアアート推進プロジェクト | (コーディネーター・動画制作) 連続講座「デジタル分野のヘルスケアアートを学ぼう」第5回, 後援 日本リスクマネジメント学会, NPO法人コミュニアル, 嵯山女学園大学 阿部順子研究室よりZoom中継 |
| 黒田正宏「プロ野球に学ぶリスクマネジメント 人生の岐路となった1982年の思い出と捕手・参謀人生」 | 単独 | 2022年11月23日 | 関西大学社会安全学部 リスクマネジメント研究室, 関西大学学生団体 KUMC10周年企画実行委員会, 大阪大学軟式野球同好会40周年企画実行委員会 | (総合司会・動画制作) 後援 日本リスクマネジメント学会, 関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 関西大学高槻ミューズキャンパス |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 課題番号21H00751 | 代表 | 2021～2025年度 | 1,430 (7,200) | 被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究 |
| 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題/領域番号:19K11233 | 分担 | 2019～2021年度 | 1,820 (4,420) | 中小企業経営者における職業性ストレス尺度の開発と実態解明の研究, 研究代表者 栗岡住子 |
| 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題/領域番号22K11135 | 分担 | 2022～2025年度 | 100 (4,160) | 中小企業経営者におけるストレス予防教育プログラムの開発 研究代表者 栗岡住子 |
| 堺市と関西大学との地域連携事業 | 代表 | 2021～2023年度 | 328 (1,260) | 堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業承継 |
| 笹川日仏財団・研究助成 | 代表 | 2021年10月- 2022年3月 | 700 | 『フランス映画に学ぶリスクマネジメント』出版 |
| 笹川日仏財団・研究助成 | 代表 | 2022年10月- 2023年3月 | 1,000 | 「中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム」 |

| |
|---|
| 以下、フリー記入 |
| <p>(所属学会)</p> <p>日本リスクマネジメント学会 副理事長・事務局長 ファミリービジネス学会 理事 ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事 日仏経営学会 日本経営学会 日本商品学会 日本中小企業学会 日本保険学会 事業承継学会 PL 研究学会 地域デザイン学会</p> |
| <p>(社会貢献活動)</p> <p>堺市調査書誤記載検証委員会, 委員 (2022年4月-6月) 大阪家庭裁判所委員会, 委員 (2022年10月-) 経営学関連学会連絡協議会 委員 日本経済学会連合 委員 フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長 株式会社 アドバンスクリエイト 顧問 合同会社ユーエスジェー (USJ) 企業リスクマネジメント・コミッティー, アドバイザー (~2023年3月) 全国通訳案内士 フランス語 関西広域連合登録 第FR00099号 1996年6月28日 全国通訳案内士 英語 関西広域連合登録 第EN01034号 2017年12月28日</p> |
| <p>(その他)</p> <p>2022年度 関西大学経済・政治研究所 外国人招へい研究者 シグルン・カスバリ (ドイツ WIFU ヴィッテン・ヘルデック大学 ファミリービジネス研究所 研究員) 受け入れ責任者 2022年9月20日~10月20日 2022年度 科学研究費基盤 (B) 「被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究」招へい研究者 ベランジェール・デシャン (フランス グルノーブル大学教授) 受け入れ責任者 2022年10月28日~11月5日 大阪医科薬科大学 看護学部 非常勤講師 「くらしと安全・危機管理」担当 関西大学 経済・政治研究所 「関西ファミリービジネスのBCMと東アジア研究班」主幹 (2021年4月1日~9月30日) 関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問 関西大学 体育会 準硬式野球部 顧問 関西6大学 準硬式野球連盟 会長</p> |
| <p>(報道)</p> <p>(ラジオ) 「亀井ゼミ リスクマネジメント漫才」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2022年6月6日 (ラジオ) 「亀井ゼミ 学校現場におけるリスクマネジメント」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2022年6月13日 (ラジオ) 「亀井ゼミ 動画制作とリスクマネジメント」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2022年6月20日 (ラジオ) 「亀井ゼミ フランス映画に学ぶリスクマネジメント」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2022年6月27日 (テレビ) 「首長の入院や職務代理 公表しない事例相次ぐ」 「専門家「トップ不在を伝えることは問題」」NHK 総合 「ギョギョッと和歌山」 2022年2月12日18:30~ (記事) 「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」北海道新聞, 2020年1月13日 (記事) 「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」デーリー東北, 2020年1月13日 (記事) 「愛知・リコール署名偽造事件初判決」 「元広告関連社長に有罪」 「地裁「民主主義ないがしろ」」 「河村, 高須両氏の責任は」 「識者「真摯な説明を」」 秋田さきがけ, 2020年1月13日, 26面 (記事) 「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」山形新聞, 2020年1月13日 (記事) 「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」岩手日報, 2020年1月13日 (記事) 「愛知・リコール署名偽造有罪判決」 「河村, 高須氏の責任は」 「ともに関与を否定」 「識者「道義的責任ある」」 河北新報, 2020年1月13日 (記事) 「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」下野新聞, 2020年1月13日 (記事) 「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」上毛新聞, 2020年1月13日</p> |

研 究 業 績

- (記事)「愛知・リコール署名偽造 元社長有罪判決」[名古屋地裁「民主主義ないがしろ」]「河村，高須両氏の責任は」[識者「真摯に説明すべき」] 神奈川新聞，2020年1月13日，22面
- (記事)「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」信濃毎日新聞，2020年1月13日
- (記事)「愛知・リコール 元広告会社社長に有罪」[地裁判決 署名偽造「悪質」]「河村，高須氏に説明責任」[識者「市民に真摯な態度で」] 岐阜新聞，2020年1月13日，26面
- (記事)「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」北日本新聞，2020年1月13日
- (記事)「リコール署名偽造有罪」[名古屋地裁判決 元広告会社社長に]「関与否定 河村，高須両氏」[道義的責任 説明を] 福井新聞，2020年1月13日，31面
- (記事)「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」京都新聞，2020年1月13日
- (記事)「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」山陽新聞，2020年1月13日
- (記事)「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」高知新聞，2020年1月13日
- (記事)「愛知・リコール署名偽造 有罪判決」西日本新聞，2020年1月13日
- (記事)「リコール署名偽造，元社長有罪 有罪判決」[名古屋地裁「民主主義ないがしろ」]「河村，高須両氏の責任は？」[識者「真摯な説明を」] 佐賀新聞，2020年1月13日，21面
- (記事)“Entrevue avec le professeur Katsuyuki Kamei sur la KATSUYUKI KAMEI sur la santé des entrepreneurs” Famille en affaires, HEC Montréal (HEC モントリオール・ファミリービジネス研究所 WEB インタビュー記事) le 22 mars, <https://famillesenaffaires.hec.ca/entrevue-avec-le-professeur-katsuyuki-kamei-sur-la-sante-des-entrepreneurs/> 「アントレプレナーの健康，ファミリービジネス 経営者の健康，事業承継が健康に及ぼす健康について」 <https://famillesenaffaires.hec.ca/entrevue-avec-le-professeur-katsuyuki-kamei-sur-la-sante-des-entrepreneurs/>
- (記事)「来月開学の大阪公立大」[病院長 異例の再選考] 読売新聞，(記事)「来月開学の大阪公立大」[病院長 異例の再選考] 読売新聞，2022年3月23日，36面
- (記事)「統合で発足 大阪公立大病院」[トップ不在 異例の1カ月] 産経新聞，2022年5月2日，夕刊1面 トップ不在の影響について
- (記事)「トップ不在1カ月，交錯する思惑と見えぬ着地点 大阪公立大病院」産経新聞 WEB，2022年5月2日 <https://www.sankei.com/article/20220502-SNKJ57X7TZJ4XL7XXD6PHTBIEI/> トップ不在の影響について
- (記事)「大阪北部地震4年」[木塚に建て替え進む] 読売新聞，2022年6月18日，夕刊8面
- (記事)「大阪北部地震4年」[ブロック塀から木塚に] 建て替え進む 読売新聞オンライン，2022年6月18日，<https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20220618-OYO1T50018/>
- (記事)「経営方針や手法学ぶ 関西大学生 オイカワデニム訪問 本吉」三陸新報，2022年9月24日
- (記事)「旧統一教会問題 細田氏接点再調査へ」[野党の批判受け 来週にも文書公表] 神戸新聞，2022年10月1日，3面
- (記事)「『アレ』頼みませ」阪神の優勝こそ日本の危機管理」サンケイスポーツ，2022年11月18日
- (記事)「『『アレ』頼みませ」阪神の優勝こそ日本の危機管理 岡田監督のマネジメント力は最高」サンスポ WEB2022年11月18日 <https://www.sanspo.com/article/20221118-S4ACQFOB7FJLPHVGGES6DBSETM/>
- (記事)「『球界ここだけの話(2873)』地位が人をつくる 三塁に固定された阪神・佐藤輝明がどんな成長を見せるのか」サンスポ WEB2022年11月19日 <https://www.sanspo.com/article/20221119-4ZDRDWXLGVL3JMCYXTOKISPCI/>
- (記事)「『虎のソナタ』「ドーハの悲劇」1週間前に「虎の悲劇」」サンケイスポーツ，2022年11月24日
- (記事)「『虎のソナタ』「ドーハの悲劇」1週間前に「虎の悲劇」 退団・岡田の最終戦にファン泣いた」サンスポ WEB2022年11月24日 <https://www.sanspo.com/article/20221124-UQZVMELSEROKPMZGKD7UNCGL6U/>
- (記事)「阪急電鉄のDNAが今，阪神タイガースにとって大事」[虎党歴50年の識者が初の阪急電鉄出身のオーナー誕生を大歓迎] サンスポ WEB2022年12月22日 <https://www.sanspo.com/article/20221222-F3FFHISBPNLXMQTXYSJ3MJCHI/>
- (記事)「阪神杉山新オーナー就任 リスクマネジメントの観点から大歓迎」サンケイスポーツ，2022年12月23日
- (告知)「事業承継を考える日仏公開討論会「フランスと気仙沼をつないで」」三陸新報，2022年10月23日
- (告知記事)「本紙専属評論家 黒田氏招き講演」サンケイスポーツ，2022年11月18日
- (書評)「フランス映画に学ぶリスクマネジメント 人生の岐路と決断」八木良太「名作解説と学術的考察で「危機管理」身近に」保険毎日新聞，2022年5月31日，書評，8面
- (書評)「フランス映画に学ぶリスクマネジメント 人生の岐路と決断」毎日新聞，2022年8月27日朝刊，12面，今週の本棚
- (書評)「フランス映画に学ぶリスクマネジメント 人生の岐路と決断」渡邊啓貴「リスク時の人間を経営学的に分析」週刊東洋経済，ブックレビュー，2022年8月27日号，p.91
- (書評)「フランス映画に学ぶリスクマネジメント 人生の岐路と決断」小柳帝「映画への愛が溢れ出る，異色の実用書」キネマ旬報，No.1902，2022年9月上旬特別号，映画・書評，pp.158-159
- (書評)「フランス映画に学ぶリスクマネジメント 人生の岐路と決断」インシユアランス 損保版，第4963号，2022年8月18日，新刊紹介，p.8
- (記事作成協力)「SRM学会 関東部会をオンライン開催」[激甚災害対応などのテーマで研究報告]「上田理事長の古希記念論文集献呈式も」保険毎日新聞，2022年1月17日，10面
- (記事作成協力)「SRM学会 関西部会開催」[パンデミック，危険運転などテーマに]「フランスにおける在外研究」[4氏がリスク研究報告] 保険毎日新聞，2022年8月25日，5面
- (記事作成協力)「日本リスクマネジメント学会第47回全国大会開催」[「With/After コロナのRM」で論議]「会場では展示やポスターセッションも」保険毎日新聞，2022年12月9日，5面

■ 川 口 寿 裕

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|------------|-----------|---|
| (学術論文) 歩道走行する自転車運転者の歩行者認識 | 共著 | 2023年1月 | 交通数理研究会 | 第28回交通流と自己駆動粒子系シンポジウム論文集(査読有)、世良司(印刷中) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 視認性・誘目性に関する実験的研究 | 共同 | 2023年1月27日 | 関西大学 | 第27回先端科学技術シンポジウム、オンライン |
| (招待講演) 力学ベース歩行者シミュレーションの活用 | 単独 | 2022年7月29日 | 電子情報通信学会 | 安全・安心な生活とICT研究会、関西大学100周年記念会館 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 建築学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 兵庫県警察雑踏警備アドバイザー | | | | |

研究業績

■ 越山 健治

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|--------------------------------|---|
| (著書) 都道府県の COVID-19対応 | 分担執筆 | 2022年 2月 | ミネルヴァ書房 | 検証 COVID-19災害、関西大学社会安全学部編、第6章担当、101-119頁 |
| 防災まちづくり | 分担執筆 | 2022年10月 | 学芸出版社 | 図説 都市計画、澤木昌典・嘉名光市編、第11章担当 |
| (学術論文) 日本における避難所の課題解決に資する空間配置及び空間利用に関する事例研究 | 共著 | 2022年 7月 | 日本災害情報学会 | 有吉恭子、災害情報：日本災害情報学会誌、日本災害情報学会学会誌編集委員会編(20)、285-295、査読有り |
| 日本における災害時避難所空間の利用経緯とその影響 | 共著 | 2022年11月 | 地域安全学会 | 有吉恭子、地域安全学会論文集(41)、143-154、査読有り |
| (その他、論考・研究資料等) 法制度と防災事業 | 分担執筆 | 2022年 1月 | 丸善出版 | 自然災害科学・防災の百科事典、日本自然災害学会編、第11章、490-491 |
| 震災復興計画 | 分担執筆 | 2022年 1月 | 丸善出版 | 自然災害科学・防災の百科事典、日本自然災害学会編、第11章、492-493 |
| 事前復興計画 | 分担執筆 | 2022年 1月 | 丸善出版 | 自然災害科学・防災の百科事典、日本自然災害学会編、第11章、494-495 |
| 災害に起因する移住と帰還行動 2011年東京電力福島第一原子力発電所事故を事例として | 共著 | 2022年 3月 | 関西大学社会安全研究センター | 社会安全学研究12、73-81 |
| 災害復興における都市計画の役割に関する一考察 | 単著 | 2022年 9月 | 日本建築学会 | 2022年度日本建築学会大会研究協議会「新たな価値を実現するための都市・都市計画の枠組み」 |
| 漸増型巨大災害リスクに対応する地域防災体制の構築 | 共著 | 2022年 9月 | 自然災害研究協議会 | 生田英輔他、自然災害科学総合シンポジウム講演論文集59号、89-97 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 福島復興の諸相 | 単独 | 2022年 3月27日 | 日本都市計画学会 | 防災特別委員会第3部会公開研究会「これからの福島の復興に向けた道筋を探る」 |
| 東日本大震災被災地における小売業復興に関する研究 ― 釜石市の事例より ― | 単独 | 2022年 9月 5日 | 日本建築学会 | 2022年度日本建築学会大会(北海道) |
| 福島復興の位置づけと論点 | 単独 | 2022年12月 4日 | 日本都市計画学会 | 2022年度日本都市計画学会全国大会(栃木)ワークショップ |
| (招待講演) 巨大災害に向けた防災・復興研究の到達点 | 単独 | 2022年 3月26日 | 神戸大学都市安全研究センター | RCUSS オープンセミナー、兵庫県 |
| 広域避難と生活再建 | 単独 | 2022年 6月22日 | 人と防災未来センター | 災害対策専門演習エキスパートB、兵庫県 |
| 住民主体の復興はなされたのか | 単独 | 2022年 7月 2日 | JIA 東北支部宮城地域会 | みやぎボイス2022 テーブルD 「復興検証テーブル」、宮城県 |
| 広域避難と生活再建 | 単独 | 2022年10月22日 | 人と防災未来センター | 災害対策専門演習エキスパートB、兵庫県 |
| 復興研究がもたらす新たな都市防災対策 | 単独 | 2022年12月 5日 | 東京大学生産研究所 | ERS シンポジウム：関東大震災100周年に向けて、東京都 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費・基盤研究 A | 分担 | 2021-2025 | 405 (1500) | 福島復興10年間の検証と長期的な課題の抽出に向けた学際的な研究 |
| 住総研・研究実践助成 | 代表 | 2021-2022 | 800 (1050) | 災害復興公営住宅団地の長期的活用と変化に関する分析 |

| |
|--|
| 以下、フリー記入 |
| <p>(所属学会)</p> <p>日本建築学会 都市計画委員会 小委員会幹事</p> <p>日本都市計画学会 特別委員会幹事</p> <p>地域安全学会 学術委員会</p> <p>日本災害情報学会 編集委員会</p> <p>日本火災学会</p> <p>日本災害復興学会</p> <p>都市住宅学会</p> <p>日本危機管理防災学会</p> |
| <p>(社会貢献活動)</p> <p>京都大学公共政策大学院「危機管理論」非常勤講師</p> <p>ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 上級研究員</p> <p>福島県 東日本大震災・原子力災害伝承館 客員研究員</p> |
| <p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>高槻市総合計画審議会委員</p> <p>高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員</p> <p>京都府戦略的地震防災対策推進部会委員</p> <p>吹田市総合計画審議会委員</p> <p>吹田市環境評価委員審査会委員</p> |

研究業績

■ 小山倫史

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|------------|-----------------|-----------|--|
| (学術論文) トンネル施工時の湧水量の予測手法の拡張と実トンネルへの適用 | 共著 | | 地盤工学会 | 久保田恭行, 森守正, 安田亨, 西山哲. 地盤工学ジャーナル, 2022: 17(2): 135-145 |
| (その他, 論考・研究資料等) 異常気象時通行規制の現状と課題および通行規制時間の適正化にむけた取り組み | 単著 | | 高速道路調査会 | 高速道路と自動車, 2022: 65(2): 3-6. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 理論と実践の相互補完の重要性——「避難スイッチ」のポテンシャルリティに関する考察—— | 共同 | 2022年3月5日 | 地区防災計画学会 | 近藤誠司, 西村公貴, 地区防災計画学会誌, 2022, vol.23, pp.58-59. |
| 自然災害に対するリスク指標 GNS の開発～市町村ごとの脆弱性の可視化について～ | 共同 | 2022年6月29日～7月1日 | 日本学術会議 | 安國恭平, 伊藤和也, 菊本統, 平岡伸隆, 梶谷俊和, 安全工学シンポジウム2022, ID: GS-9-5. |
| 福井市高須町における住民参加型斜面計測および現地雨量観測に基づく土砂災害発生危険度の評価 | 共同 | 2022年7月20日～22日 | 地盤工学会 | 近藤誠司, 第57地盤工学研究発表会講演概要集, 2022, paper ID: 22-12-3-02. |
| 自己組織化マップを用いた金沢城郭石垣の健全度評価および変状の分析 | 共同 | 2022年7月20日～22日 | 地盤工学会 | 原幸平, 清水春音, 山中稔, 北野博司, 第57地盤工学研究発表会講演概要集, 2022, paper ID: 22-12-3-02. |
| 自然災害安全性指標 GNS を用いた災害リスクと人口減少の関係について | 共同 | 2022年7月20日～22日 | 地盤工学会 | 安國恭平, 伊藤和也, 菊本統, 第57地盤工学研究発表会講演概要集, 2022, paper ID: 20-12-2-01. |
| 盛土法面の土壌水分計測に基づくカルマンフィルタによるタンクモデルのパラメータ同定 | 共同 | 2022年7月20日～22日 | 地盤工学会 | 阪谷天晴, 宮崎祐輔, 藤本将光, 岸田潔, 第57地盤工学研究発表会講演概要集, 2022, paper ID: 20-10-2-08. |
| 斜面災害のリスクを低減させた社会を目指して | 共同 | 2022年7月20日～22日 | 地盤工学会 | 鏡原聖史, 芥川真一, 小泉圭吾, 藤本将光, 鳥居宣之, 斜面災害のリスクを低減させた社会を目指して, 第57地盤工学研究発表会講演概要集, 2022, paper ID: DS-7-12. |
| 自然災害安全性指標 GNS の開発～全国市区町村版 GNS の算出と考察～ | 共同 | 2022年9月14日～16日 | 土木学会 | 安國恭平, 伊藤和也, 菊本統, 土木学会第77回年次学術講演会講演概要集, 2022, Paper ID: IV-113. |
| 国道27号線舞鶴市真倉で発生した斜面崩壊に対する浸透流および円弧すべり解析 | 共同 | 2022年9月14日～16日 | 土木学会 | 福岡知弥, 宮崎祐輔, 藤原照幸, 岸田潔, 土木学会第77回年次学術講演会講演概要集, 2022, Paper ID: III-365. |
| 局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期避難に向けた利活用に関する検討——令和3年7月29日の大雨時の福井市高須町の事例 | 共同 | 2022年11月4日 | 地盤工学会関西支部 | 近藤誠司, 山田忠幸, Kansai Geo-Symposium 2022 —— 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—— 論文集, pp.162-167 (査読有り). |
| 土壌雨量指数を用いた国道における新たな異常気象時事前通行規制の提案および検証 | 共同 | 2022年11月4日 | 地盤工学会関西支部 | 村田宗一郎, 宮崎祐輔, 岸田潔, Kansai Geo-Symposium 2022 —— 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—— 論文集, pp.29-34 (査読有り). |
| 土壌雨量指数の飽和度を用いたパラメータ同定期間の検討 | 共同 | 2022年11月4日 | 地盤工学会関西支部 | 林祐妃, 藤本将光, 山田由生, 宮崎祐輔, 岸田潔, Kansai Geo-Symposium 2022 —— 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—— 論文集, pp.153-157 (査読有り). |
| 白河小峰城跡石垣盛土部の常時微動探査による埋没谷の検出 | 共同 | 2022年11月25日～26日 | 地盤工学会四国支部 | 山田愛也, 山中稔, 令和4年度地盤工学会四国支部技術研究発表会, 2022, paper ID: ●, pp.1-2. |
| 自己組織化マップによる石垣変状要因分析の試み | 共同 | 2022年11月25日～26日 | 地盤工学会四国支部 | 森誠矢, 山中稔, 令和4年度地盤工学会四国支部技術研究発表会, 2022, paper ID: ●, pp.1-2. |

| | | | | |
|---|----|-------------|-------------------|---|
| 福井市高須町における住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築——現状と課題—— | 共同 | 2022年12月2日 | 地盤工学会 | 近藤誠司, 第63回地盤工学シンポジウム, Paper ID: 4-1-4, pp.1-6, 2022 (査読有り). |
| 局所雨量観測データを用いた土砂災害発生危険度の分析およびその住民の早期避難に向けた利活用に関する検討——福井市高須町における平成30年7月豪雨と令和3年7月29日の大雨の比較 | 共同 | 2022年12月2日 | 地盤工学会 | 近藤誠司, 山田忠幸, 第63回地盤工学シンポジウム, Paper ID: 4-1-2, pp.1-6, 2022 (査読有り). |
| 局所雨量計測による土砂災害発生危険度の分析——令和4年7月3日からの大雨における京丹波町の事例 | 共同 | 2022年12月2日 | 地盤工学会 | 野澤理紗, 近藤誠司, 西村公貴, 第63回地盤工学シンポジウム, Paper ID: 3-2-1, pp.1-6, 2022 (査読有り). |
| (招待講演) | | | | |
| 土砂災害に対する早期警戒・避難のための防災気象情報とその活用法 | 単独 | 2022年3月10日 | 大阪建築防災センター | 令和3年度春季建築物防災週間関連行事建築物防災講演会, 建設交流会館グリーンホール, 大阪. |
| 豪雨時の土砂災害における早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用および情報伝達に関する講義とワークショップ | 単独 | 2022年8月7日 | 兵庫県 | 令和4年度地域防災リーダー・スキルアップ講座, 兵庫県, 兵庫県広域防災センター, 兵庫県三木市 |
| 土砂災害における早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用 | 単独 | 2022年9月4日 | 兵庫県 | 令和4年度丹波地域ひょうご防災リーダー講座・基礎コース, 丹波篠山市民センター, 兵庫県丹波篠山市 |
| 土砂災害における早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用および情報伝達に関するワークショップ. | 単独 | 2022年9月18日 | 兵庫県防災士会 | 令和4年度阪神エリア地域防災研修会, 令和4年9月18日, 西宮市民共済会館, 兵庫県西宮市. |
| 住民参加型斜面計測・モニタリングシステム構築の現状と課題——新しい地域防災活動のあり方—— | 単独 | 2022年10月28日 | 地盤工学会北陸支部 | 第85回土質工学最新情報コロキウム第85回土質工学最新情報コロキウム, オンライン. |
| 増大する土砂災害とその対策——地域防災の最前線—— | 単独 | 2022年11月1日 | 国土交通省中国地方整備局, 岡山県 | 中国地方建設技術開発交流会——災害に強く住みよい豊かな暮らしを目指して, オンライン. |
| 豪雨時の土砂災害に対する早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用および情報伝達のあり方について | 単独 | 2022年11月2日 | KG-NET・関西圏地盤研究会 | 2022年度勉強会「講座——地盤に触れて基礎知識を学ぶ——」(第2回), オンライン. |
| 土砂災害における早期警戒・避難に向けた防災気象情報の活用 | 単独 | 2022年11月27日 | 兵庫県 | 令和4年度ひょうご防災リーダー養成講座, 兵庫県広域防災センター, 兵庫県三木市. |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 土木学会 | | | | |
| 地盤工学会 | | | | |
| 資源・素材学会 | | | | |
| 岩の力学連合会 | | | | |
| 地下水学会 | | | | |
| 地すべり学会 | | | | |
| 計算工学会 | | | | |
| 地域安全学会 | | | | |
| 文化財保存科学会 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 土木学会, 岩盤力学委員会 委員 | | | | |
| 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会, 副委員長 | | | | |
| 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤動力学に関する研究小委員会, 委員 | | | | |
| 土木学会, 岩盤力学委員会 論文小委員会, 委員 | | | | |
| 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤力学改訂版編集小委員会, 委員 | | | | |
| 土木学会, 土木学会論文集F2分冊編集小委員会兼地下空間シンポジウム表彰委員会, 委員 | | | | |
| 土木学会, 地下空間研究委員会 維持管理小委員会, 委員 | | | | |
| 国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員 | | | | |
| 地盤工学会, 会誌編集委員会, 副委員長 | | | | |

研 究 業 績

| |
|---|
| <p>地盤工学会関西支部、斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会、利活用・教育部会（部会3）部会長</p> <p>International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), member</p> <p>International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Grouting, member</p> <p>岩の力学連合会、常任理事</p> <p>岩の力学連合会、RockNet委員会、委員</p> <p>岩の力学連合会、JSRM賞選考委員会、幹事長</p> <p>日本原子力学会、「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会、委員</p> <p>国土交通省近畿地方整備局、道路防災ドクター</p> <p>国土交通省近畿地方整備局、トンネルアドバイザー</p> <p>国土交通省近畿地方整備局、技術スペシャリスト会議トンネル技術研究会、委員</p> <p>大阪府、道路防災対策等に関する技術検討会、委員</p> <p>猪名川町教育委員会、猪名川町多田銀銅山遺跡保存活用委員会、委員</p> <p>近畿建設協会、土木とAI検討委員会、副委員長</p> <p>西日本高速道路株式会社、関西支社技術アドバイザー</p> <p>阪神高速先進技術研究所、土工構造物検討委員会、委員</p> <p>阪神高速先進技術研究所、土木構造物点検診断技術者資格認定委員会、委員</p> <p>西日本旅客鉄道(株)、コンクリート構造物の維持管理技術に関する検討委員会、トンネル分科会、委員</p> <p>原子力発電環境整備機構 (NUMO)、技術アドバイザー委員会、委員</p> <p>日本原子力研究開発機構 (JAEA)、地層処分施設閉鎖技術確証試験委員会、委員</p> <p>原子力環境整備促進・資金管理センター、HLW坑道回収可能性維持期間定量化検討委員会、委員</p> |
| <p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>2021年度会岩の力学連合会論文賞、受賞、受賞業績名:Improvement of Discontinuous Deformation Analysis Incorporating Implicit Updating Scheme of Friction and Joint Strength Degradation (2021年6月)</p> <p>【記事掲載】「防災に重要な「自助」「共助」、産経新聞、2022年4月18日、夕刊2面「関大社会安全学部リレーコラム」</p> <p>【テレビ番組】「過去の震災を未来に生かす～南海トラフ地震と防災・減災対策フォーラム」、テレビ大阪「やさしいニュース」、2022年12月20日、16時29分～。</p> |

■ 近藤 誠司

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|----------|----------|--|
| (著書) 自然災害科学・防災の百科事典 | 分担 | 2022年1月 | 丸善出版 | 「災害報道」, 日本自然災害学会編, pp.510-511. |
| 検証 COVID-19災害 | 分担 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編, 「インフォア ミックとメディア」, pp.248-266. |
| 災害報道とリアリティ 情報学の新たな地平 | 単著 | 2022年2月 | 関西大学出版部 | (全211頁) |
| これからの防災 身につけよう! 自助・ 共助・公助 第1巻 地震・津波 | 監修 | 2022年4月 | ポプラ社 | (全47頁) |
| これからの防災 身につけよう! 自助・ 共助・公助 第2巻 台風・大雨 | 監修 | 2022年4月 | ポプラ社 | (全47頁) |
| これからの防災 身につけよう! 自助・ 共助・公助 第3巻 火山・雷・竜巻 | 監修 | 2022年4月 | ポプラ社 | (全47頁) |
| これからの防災 身につけよう! 自助・ 共助・公助 第4巻 大雪・猛暑 | 監修 | 2022年4月 | ポプラ社 | (全47頁) |
| 防災教育学の新機軸 まなび合いのアクシ ョンリサーチ | 単著 | 2022年11月 | 関西大学出版部 | (全208頁) |
| (学術論文) COVID-19報道の検証を試みる — 自然 災害の報道との比較から | 単著 | | 医学書院 | 公衆衛生, Vol.86, pp.620-626. |
| 防災行政無線を活用した防災意識向上策の 評価分析 — 福島県西郷村におけるアクシ ョンリサーチ — | 共著 | | 社会安全学部 | 社会安全学研究, 第12巻, pp.63-71. (政 岡希実) |
| インフォデミック 問われた報道のありかた | 単著 | | 南山堂 | 治療, Vol.103, No.12, pp.1516-1520. |
| コロナ禍に入って1年半を経過した在外邦 人の状況 — 関西大学校友会海外支部員を 対象としたフォローアップ調査 — | 共著 | | 社会安全学部 | 社会安全学研究, 第12巻, pp.33-46. (李 舒迪・王 斤伯・蔡 一然) 査読あり |
| 限界集落の避難行動計画策定に関する基礎 的考察 — 福井市高須集落 令和3年7 月20日の大雨に関する住民調査から — | 共著 | | 地区防災計画学会 | 地区防災計画学会誌, 第22号, pp.72-86. (小山倫史) 査読あり |
| 東日本大震災以降の津波避難アナウンスメ ントに関する考察 — 津波避難経験者の デプスインタビュー調査から — | 共著 | | 日本災害情報学会 | 災害情報, No.20-1, pp.197-207. (福本晋 悟) 査読あり |
| アクションリサーチ その可能性の中心 — 校内防災放送プロジェクトを題材とし て | 単著 | | 日本災害情報学会 | 災害情報, No.20-1, pp.157-166. |
| メディアと災害情報 巨大災害に立ち向かうために | 単著 | | 武庫川女子大学 | 生活美学研究所紀要第32号, pp.190-212. |
| 局所雨量計測による土砂災害発生危険度の 分析 — 令和4年7月3日からの大雨にお ける京丹波町の事例 | 共著 | | 地盤工学会 | 第63回地盤工学シンポジウム, Paper ID: 3-2-1, pp.1-6, 2022. (小山倫史・野澤理 紗・西村公貴) 査読あり |
| 局所雨量観測データを用いた土砂災害発生 危険度の分析およびその住民の早期避難に 向けた利活用に関する検討 — 福井市高須 町における平成30年7月豪雨と令和3年7 月29日の大雨の比較 | 共著 | | 地盤工学会 | 第63回地盤工学シンポジウム, Paper ID: 4-1-2, pp.1-6, 2022. (小山倫史・山田 忠幸) 査読あり |
| 福井市高須町における住民参加型斜面計 測・モニタリングシステムの構築 — 現状 と課題 — | 共著 | | 地盤工学会 | 第63回地盤工学シンポジウム, Paper ID: 4-1-4, pp.1-6, 2022. (小山倫史) 査読 あり |
| 局所雨量観測データを用いた土砂災害発生 危険度の分析およびその住民の早期避難に 向けた利活用に関する検討 — 令和3年7 月29日の大雨時の福井市高須町の事例 | 共著 | | 地盤工学会 | Kansai Geo-Symposium 2022-地下水地 盤環境・防災・計測技術に関するシンポ ジウム — 論文集, pp.162-167. (小山 倫史・山田忠幸) 査読あり |
| (その他, 論考・研究資料等) 災害情報を活かすために — リアリティの水準から再考する — | 単著 | | 新建新聞社 | 「リスク対策.com」Joint Seminar 減災 2022 第2回シンポジウム https:// www.risktaisaku.com/articles/-/71475 |

研究業績

| | | | | |
|--|-------|------------|-------------------|--|
| 大学生と住民が出演するシリーズCMで町の防火意識が向上 | 単著 | | レジリエンス推進協議会 | 2022ジャパンレジリエンスアワード記念冊子, p32. |
| コロナ禍に入って1年半を経過した在外邦人の状況——関西大学校友会海外支部員を対象としたフォローアップ調査—— | 単著 | | 関西大学校友会 | 関西大学校友会機関紙「関大」, 学の実化, pp.28-29. |
| 「広がれ! はっぴー・ほうさい」 | 単著 | 2021.4から連載 | 草津市 | 広報草津 (第10回～第21回) |
| 「安心ほっと便り」 | 単著 | 2018.7から連載 | 京丹波町 | 広報京丹波 (No.195, 197, 199, 201, 203, 205) (第21回～26回) |
| 「百世安堵」 | 単著 | 2021.4から連載 | 稲むらの火の館 | やかただより (第10回～第21回) |
| 「インクルーシブ防災」を実現したい!～関西大学近藤ゼミが取り組む, SDGsの基盤づくり | 単著 | | Sports for Social | https://sports-for-social.com/special/kansai-univ202206/ |
| 京丹波町自主放送番組アンケート (令和3年度実施)——調査結果報告書 | 単著 | | 京丹波町 | https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/material/files/group/2/R0403anketresult.pdf (全57頁) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) | | | | |
| 理論と実践の相互補完の重要性～「避難スイッチ」のポテンシャルティ～に関する考察 | 共同 | | 地区防災計画学会 | 地区防災計画学会誌第23号, pp.58-59, 2022. オンライン (小山倫史・西村公貴) |
| 福井市高須町における住民参加型斜面計測および現地雨量観測に基づく土砂災害発生危険度の評価. | 共同 | | 地盤工学会 | 第57地盤工学研究発表会講演概要集, 2022, paper ID: 22-12-3-02. (小山倫史) |
| (招待講演) | | | | |
| メディアと災害情報 巨大災害に立ち向かうために | 単独 | 2022年1月14日 | 武庫川女子大学 | 武庫川女子大学生生活美学研究所 第31回シンポジウム 緊急時における情報の「顔」を生活者の視点から考える, 於・武庫川女子大学 (現場収録) |
| 中規模クラスの地震の初動のありかた | 単独 | 2022年1月20日 | NHK アナウンス | NHK アナウンス防災研究会, オンライン |
| 特別授業・防災学習 シリーズの効果と評価 | 単独 | 2022年2月3日 | 京丹波町立丹波ひかり小学校 | 京丹波町立丹波ひかり小学校報告会 |
| 災害報道現場でのジレンマ～クロスロード演習で考える～ | 単独 | 2022年2月24日 | 日本記者クラブ | 2022年日本記者クラブ記者研修会, オンライン |
| 講評: 無計画と非計画 | 単独 | 2022年3月22日 | 高槻市介護事業者協議会防災対策部会 | 高槻市介護事業者協議会防災研修会, オンライン |
| 知って得する 災害情報ナレッジ! | 単独 | 2022年3月26日 | 関西大学千里山キャンパス | フレッシュキャンパス千里山 |
| みんなのほうさい ～みんなが, みんなで～ | 単独 | 2022年5月6日 | 北野高校 | 北野高校防災研修, 於・北野高校講堂 |
| リスクコミュニケーション技法 「伝える・書く」 | 単独 | 2022年5月9日 | 香川大学 | 四国防災・危機管理プログラム, オンライン |
| 「伝える」から「伝わる」に～災害情報論・事始め～ | 単独 | 2022年5月25日 | 関西ライフライン研究会 | 関西ライフライン研究会 令和4年度総会・特別講演, 於・AP大阪茶屋町 |
| みんなの災害情報 ポジティブ活用術 | 単独 | 2022年6月11日 | 社会安全学部 | 2022年度春学期 高槻ミュージックキャンパス公開講座 あなたの命を守る“お天気”の情報, 於・ミュージックホール |
| 講評: 防災と減災 | 単独 | 2022年6月14日 | 京都府立木津高等学校 | 特別活動 (探究活動最終報告会), 於・京都府立木津高等学校視聴覚教室 |
| みんなのほうさい～いまこそインクルーシブ防災を～ | 共同 | 2022年6月20日 | 龍野北高等学校 | 龍野北高等学校・防災交流授業, 於・龍野北高校 (吉田三莉・森本将吾) |
| 避難の計画づくり, 進めましょう | 単独 | 2022年6月26日 | 福井市高須町自治会 | 福井市高須町自治会 防災交流会, 於・高須集落センター |
| 情報学からのアプローチ | 共同 | 2022年6月30日 | 日本学術会・土木学会 | 安全工学シンポジウム土木学会安全問題研究委員会地域安全小委員会連携PD 気候変動への適応に向けたこれからの地域社会の構築, オンライン |
| 地区防災計画と地域防災の実践活動 | 単独 | 2022年7月16日 | 兵庫県 | 丹波地域ひょうご防災リーダー講座・基礎コース, 於・丹波篠山市民センター多目的ホール |

社会安全学研究 第13巻

| 災害情報を活かすために リアリティの水準から再考する | 単独 | 2022年7月22日 | Joint Seminar 減災 | 第2回Joint Seminar 減災、於・関西大 学梅田キャンパス |
|---|---------------|---|--------------------------------|---|
| 地区防災計画とはじめ | 単独 | 2022年7月22日 | 草津市渋川学区まち づくり協議会 | 草津市渋川学区防災委員会、於・渋川ま ちづくりセンター大会議室 |
| チャレンジ SNSの活用術 情報学で危機を 乗り切れ | 単独 | 2022年8月27日 | 社会安全学部 | サマーキャンパス、於・関西大学社会安 全学部近藤研究室 |
| みんなのぼうさい ～あたらしい共助の輪を広げよう～ | 単独 | 2022年8月27日 | 堺市南区 | 堺市南区要配慮者に対する避難所運営訓 練、オンライン |
| アフターコロナの安全・安心社会を展望す る ～防災・減災編～ | 単独 | 2022年8月29日 | 関大北陽高校 | 2022年度併設高等学校との連携プログラ ム、於・関大北陽高校 |
| みんなのぼうさい ～支え合い、学び合い～ | 単独 | 2022年9月8日 | 加古川市手をつなぐ 育成会 | 加古川市手をつなぐ育成会 防災講演 会、於・加古川市総合福祉会館 |
| みんなで取り組もう 防災・減災 ～尼崎 市民の命を守るために～ | 単独 | 2022年9月9日 | 尼崎市 | たちばなの寺子屋 第1回、於・立花北 生涯学習プラザ |
| 情報学からのアプローチ | 共同 | 2022年9月13日 | 土木学会 | 令和4年度土木学会 全国大会研究討論 会（気候変動への適応に向けたこれから の地域社会の構築）、オンライン |
| インクルーシブ防災のすすめ～今こそみん なで学び合い～ | 単独 | 2022年10月3日 | 京丹波町 | 京丹波町民生児童委員協議会研修会、 於・京丹波町道の駅「和」 |
| 廣井賞受賞講演：巨人の肩の上、手の平の 上 | 単独 | 2022年10月8日 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会 第25回学会大会、 於・日本大学危機管理学部三軒茶屋キャン パス |
| まちづくりは、ひとつくり ～防災・福祉・教育～ | 共同 | 2022年10月11日 | 高槻ライオンズクラ ブ | 高槻ライオンズクラブ10月度第一例会 於・アンシェルデ・マリアーヂュ3F「ア スティオン」（溝端峻・濱崎真乃） |
| 講評：計画と保険 | 単独 | 2022年10月21日 | 高槻市介護事業者協 議会防災対策部会 | 高槻市介護事業者協議会防災研修会、高 槻市役所、ハイブリッド |
| 講評：大災害時の被害情報共有 | 単独 | 2022年10月23日 | 草津市山田学区まち づくり協議会 | 草津市山田学区防災訓練、於・山田学区 まちづくりセンター |
| こまったときはおたがいさまシートの活用 法 | 単独 | 2022年10月29日 | 福井市高須町自治会 | 福井市高須町自治会 防災交流会、於・ 高須集落センター |
| 南区独自の防災力向上モデル | 共同 | 2022年10月31日 | 堺市南区 | 令和3・4年度 堺市南区政策会議 堺 市南区政策会議構成員と堺市南区選出市 議会議員との意見交換会、於・国際障害 者交流センター（ビッグ・アイ）大研修室 |
| 災害報道の意義と困難性～クロスロード演 習で考える～ | 単独 | 2022年11月11日 | 東北公益文科大学 | 東北公益文科大学現代メディア論、於・ 東北公益文科大学 |
| みんなのぼうさい ～いまこそインクルーシブ防災を～ | 共同 | 2022年11月14日 | CO-OP 島本 | CO-OP 島本 防災勉強会、於・CO-OP 島本（近藤誠司・溝端峻・山上桃可） |
| みんなのぼうさい 災害情報を活用する知恵と工夫 | 単独 | 2022年11月17日 | 大阪府防災通信協会 | 大阪府防災通信協会 令和4年度 防災 講演会、オンライン収録によるDVD作 成に切り替え |
| 地区防災計画と地域防災の実践活動 | 単独 | 2022年11月26日 | 兵庫県 | 令和4年度 ひょうご防災リーダー養成 講座、於・兵庫県広域防災センター |
| 今こそインクルーシブな社会を ～防災福 祉の知恵 17文字で共有しよう～ | 単独 | 2022年11月27日 | 尼崎市難病団体連絡 協議会 | 第25回尼難連講演交流会 要援護者災害 シンポジウム、於・尼崎市立身体障害者 福祉会館大ホール |
| CFM (JCBA) 防災力実態調査報告 | 単独 | 2022年12月16日 | JCBA 近畿 | 令和4年度第3回JCBA 近畿地区連絡 会、於・西宮市民共済生活協同組合 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C)・17K00471 | 代表 | 2017年度～2018 年度（コロナ延 長で2022年度ま で継続） | 2210千円 | 地域防災活動を推進するローカルメディ アの創発 |
| 地区防災計画学会 地区防災計画モデル事 業 | 代表 | 2022年度 | 300千円 | 福井市高須集落における土砂災害を対象 とした個別避難計画策定プロジェクト |
| 尼崎市支え合いを育むづくり支援事業 | 代表 | 2022年度 | 220千円 | 難病患者・障害児者の防災力向上プロジ ェクト |

研 究 業 績

| |
|--|
| 以下、フリー記入 |
| <p>(所属学会)</p> <p>日本自然災害学会</p> <p>日本災害情報学会 理事</p> <p>日本災害復興学会 理事</p> <p>地区防災計画学会 幹事</p> <p>日本安全教育学会</p> <p>日本グループ・ダイナミックス学会</p> <p>日本質的心理学会</p> <p>社会貢献学会 理事</p> <p>防災教育学会</p> |
| <p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>池田市総合計画審議会まちづくり部会 委員</p> <p>堺市南区政策部会 安全安心創出・未来共創推進部会 部長</p> <p>高槻市第八中学校区学校運営協議会 委員</p> <p>NHK 大阪放送局 「関西ラジオワイド・防災コラム」 レギュラーコメンテーター</p> <p>ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞) 優良賞(教育機関部門) 3年連続入賞</p> <p>令和3年度「1.17防災未来賞・ほうさい甲子園」大学部門・奨励賞(8年連続入賞)</p> <p>関西大学学長奨励表彰 4年度連続受賞</p> <p>関西大学地域連携センター主催 地域で活躍する若いチカラ奨励賞・プレゼンテーション大会 優秀賞(5大会連続入賞)</p> <p>JCBA(日本コミュニティFM放送協議会)近畿 情報・教養番組部門 優秀賞</p> <p>日本災害情報学会 廣井賞(学術功績部門)</p> <p>Qネット関西 試験放送に研究室として参加 於・兵庫県養父市(5/12-13)</p> <p>「海ごみゼロウィーク2022」に研究室として参加 於・星田遊園(6/12)</p> <p>「関西大学フェスティバルin関西」に研究室として参加(校友会東北ブロックを支援) 於・関西大学千里山キャンパス(10/9)</p> <p>「OBCラジオまつり ふれあり広場2022」の防災ブースに研究室として参加 於・大阪城公園太陽の広場(11/23)</p> |

■ 高鳥毛 敏 雄

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨 |
|---|--|---|---|---|
| (著書) 各国のCOVID-19の流行状況と対応 | 分担執筆 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19災害』第1章, 3-26頁. |
| 感染症と人間社会 — 医学・医療・公衆衛生 | 分担執筆 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19災害』第4章, 60-82頁. |
| (学術論文) 「人新生」時代における社会医学を展望する 英国の健康安全保障庁(UKHS)創設と今後の公衆衛生体制への期待 日本の災害時の公衆衛生活動の歩み — 阪神淡路大震災まで | 単著 単著 単著 | 2022年10月 2022年7月 2022年11月 | 日本社会医学会 医学書院 医学書院 | 社会医学研究, 39巻2号, 61-65. 査読あり 公衆衛生, 86巻7号, 638-644. 公衆衛生, 86巻11号, 974-979. |
| (その他の著作・論考等) コロナが問いかける人間社会と公衆衛生の未来 自然条件に規定されている人間社会 (論文翻訳監修) 人工膝関節全置換手術後の疼痛に対するデキサメタゾンの鎮痛補助薬としての効能評価: 無作為化臨床試験 Effect of dexamethasone as an analgesic adjuvant to multimodal pain treatment after total knee arthroplasty: randomised clinical trial BMJ. 2022 Jan 4; 376: e067325. doi: 10.1136/bmj-2021-067325. 新生血管による加齢黄斑変性に対する16週間隔のファリシマブの硝子体内投与の有効性, 持続性, 安全性(TENAYA, LUCERNE): 2つの無作為・二重盲検・非劣性・第3相治験結果 Efficacy, durability, and safety of intravitreal faricimab up to every 16 weeks for neovascular age-related macular degeneration (TENAYA and LUCERNE): two randomised, double-masked, phase 3, non-inferiority trials Lancet. 2022 Feb 19; 399 (10326): 729-740. doi: 10.1016/S0140-6736(22)00010-1. Epub 2022 Jan 24. 抗好中球細胞質抗体関連血管炎(AAV)患者に対する血漿交換の治療効果の評価: 最新のシステマティックレビューとメタアナリシス The effects of plasma exchange in patients with ANCA-associated vasculitis: an updated systematic review and meta-analysis BMJ. 2022 Feb 25; 376: e064604. doi: 10.1136/bmj-2021-064604. クロイツフェルト・ヤコブ病の抗プリオン蛋白質に対するモノクローナル抗体(PRN100)を使ったはじめての治療 Prion protein monoclonal antibody (PRN100) therapy for Creutzfeldt-Jakob disease: evaluation of a first-in-human treatment programme Lancet Neurol. 2022 Apr; 21(4): 342-354. doi: 10.1016/S1474-4422(22)00082-5. | 単著 単著 翻訳監修 翻訳監修 翻訳監修 翻訳監修 | 2022年12月 2022年7月 2022年1月 2022年2月 2022年3月 2022年4月 | ひょうご震災記念21世紀研究機構 関西大学広報委員会 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団 | 21世紀ひょうご, Vol.33, 3-14. 関西大学通信, 7月号. 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202202ta/ 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202203ta/ 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202204ta/ 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202205ta/ |

研 究 業 績

| | | | | |
|--|------|----------|----------|---|
| covid-19ワクチン接種者と SARS-CoV-2感染者における免疫介在性神経学的イベントの発生リスク：地域ベースの対照症例分析 Association between covid-19 vaccination, SARS-CoV-2 infection, and risk of immune mediated neurological events: population based cohort and self-controlled case series analysis BMJ. 2022 Mar 16; 376: e068373. doi: 10.1136/bmj-2021-068373. | 翻訳監修 | 2022年 5月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202206ta/ |
| 関節炎における軟骨変性とフィブリン沈着との関連の検討 Fibrin deposition associates with cartilage degeneration in arthritis EBioMedicine. 2022 May 31; 81: 104081. doi: 10.1016/j.ebiom.2022.104081. Online ahead of print. | 翻訳監修 | 2022年 6月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202207ta/ |
| 炎症性腸疾患患者の卵巣予備能と体外受精治療の成績：システマティックレビューとメタアナリシス Ovarian reserve and IVF outcomes in patients with inflammatory bowel disease: A systematic review and meta-analysis EClinicalMedicine. 2022 Jul 1; 50: 101517. doi: 10.1016/j.eclinm.2022.101517. eCollection 2022 Aug. | 翻訳監修 | 2022年 7月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202208ta/ |
| パーキンソン病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法 (rTMS) の有効性評価：無作為化比較試験による研究のシステマティックレビューとメタアナリシスから Efficacy of repetitive transcranial magnetic stimulation in Parkinson's disease: A systematic review and meta-analysis of randomised controlled trials EClinicalMedicine. 2022 Jul 29; 52: 101589. doi: 10.1016/j.eclinm.2022.101589. eCollection 2022 Oct. | 翻訳監修 | 2022年 8月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202209ta/ |
| 米国の都市部に住む増悪する好酸球性喘息の小児患者に対するメポリズマブの投与 (MUPPITS-2)：無作為化・二重盲検・プラセボ対照並行群間の比較試験による評価 Mepolizumab for urban children with exacerbation-prone eosinophilic asthma in the USA (MUPPITS-2): a randomised, double-blind, placebo-controlled, parallel-group trial Lancet. 2022 Aug 13; 400(10351): 502-511. doi: 10.1016/S0140-6736(22)01198-9. | 翻訳監修 | 2022年 9月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202210ta/ |
| 全身性強皮症の死亡と重症度の性差に対する抗トポイソメラーゼ抗体のリスク評価：Leiden CCISS コホートと EUSTAR コホートの10年解析 Sex-specific risk of anti-topoisomerase antibodies on mortality and disease severity in systemic sclerosis: 10-year analysis of the Leiden CCISS and EUSTAR cohorts Lancet Rheumatol 2022; 4: e699-709. doi: 10.1016/S2665-9913(22)00224-7 | 翻訳監修 | 2022年10月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202211ta/ |
| クロノタイプと認知機能との関連性：観察研究と双方向メンデル無作為化による検討 Chronotype and cognitive function: Observational study and bidirectional Mendelian randomization eClinicalMedicine November 01, 2022; DOI: https://doi.org/10.1016/j.eclinm.2022.101713 | 翻訳監修 | 2022年11月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202212ta/ |

| | | | | |
|---|-----------|------------------------|-----------------------------------|---|
| 新型コロナウイルス感染症における感染者の入院の有無別後遺症状の有病状況と長期的な健康影響の検討：システマティックレビューとメタアナリシスによる The prevalence and long-term health effects of Long Covid among hospitalised and non-hospitalised populations: A systematic review and meta-analysis ClinicalMedicine. 2022 Dec 1; 55: 101762. doi: 10.1016/j.eclinm.2022.101762. eCollection 2023 Jan. | 翻訳監修 | 2022年12月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202301ta/ |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (口頭発表) COVID-19の流行が結核・非結核性抗酸菌症対策に及ぼす影響について | 単独 | 2022年7月2日 | 日本結核・非結核性抗酸菌症学会 | 第97回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会(北海道・旭川) |
| (招待講演) 超高齢社会における複合災害への対応 コロナ禍を乗り越える公衆衛生看護の力 | 単独 単独 | 2022年5月9日 2022年7月2日 | 日本学術会議 岡山県保健福祉部 保健福祉課 地域福祉班 | 日本学術会議公開シンポジウム 第13回防災学術連携シンポジウム 岡山県看護協会保健師職能委員会 全国保健師長会岡山県支部 |
| 資金制度・研究費名 | 役割(代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 基盤研究(A) | 分担 | 2020~2022年 | 100 (300) | 食品選択、食事内容構成の意思決定と健康リスクコミュニケーションの要件 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本社会医学会・理事長 日本公衆衛生学会・理事 日本公衆衛生学会・感染症対策委員会・副委員長 日本公衆衛生学会・災害・緊急時公衆衛生活動委員会・副委員長 日本結核・非結核性抗酸菌症学会・功労会員 | | | | |
| (社会貢献活動) 大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師 関西看護大学・非常勤講師 大阪府教育委員会事務局・学校保健指導医(技師) 大阪府感染症審議会・結核対策部会・委員 大阪府立学校職員健康審査会・常任委員 大阪府立学校結核対策審議会・委員 東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員 高槻市地域包括ケア推進会議・委員長 高槻市保健医療審議会・委員 高槻市感染症診査協議会・委員 公益法人大阪成人病協会・評議員 ストップ結核パートナーシップ日本・理事 医学書院 雑誌公衆衛生・編集委員 社会福祉法人大阪社会医療センター・評議員 人と防災未来センター・上級研究員 | | | | |

研究業績

■ 高野 一彦

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|--|---|--|--|
| (著書) COVID-19パンデミックの大企業への影響 と新たな可能性 | 分担執筆 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19災害』第10章第1節、178-191頁 |
| (学術論文) 企業価値を創造する社会的責任経営 公益通報者保護制度の発展系譜と新たな課 題 | 単著 単著 | 2022年2月 2022年6月 | PHP 研究所 日本機械学会 | 衆知 2022年3-4月号、70-73頁 日本機械学会誌 2022. Vol.125, No.1243, 24-27頁 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会・学術団体発表) 個人情報保護法の改正と大学関係者にとっ ての課題 公益通報者保護制度のテクノロジーと企業 の内部通報制度のあるべき姿の探求 人権とコンプライアンスの関係 | パネリスト 単独 単独・パネ ルチェア | 2022年4月23日 2022年6月10日 2022年7月22日 | 堀部政男情報法研究 会 日本経営倫理学会 経営倫理実践研究セ ンター | 堀部政男情報法研究会シンポジウムでパ ネリストとして報告、オンライン開催 法務コンプライアンス研究部会、於 早稲 田大学(東京) 法令研究会オープンセミナー「ビジネス と人権に関する指導原則と企業の人権へ の取組」で招聘講演とパネルチェア、オ ンライン開催 |
| 個人情報保護法の改正経緯——改正の契機 となった事件やEUとの関係から | 単独 | 2022年9月30日 | 経営倫理実践研究セ ンター | 法令研究会オープンセミナー「個人情報 保護法における保護と利活用のポイント」 で招聘講演とパネルチェア、オンライン 開催 |
| 近年の企業事件の傾向とクライシス・マネ ジメントのポイント | 単独 | 2022年10月5日 | 日本経営倫理士協会 | 日本経営倫理士協会 第13回シンポジ ウムで基調講演、オンライン開催 |
| (招待講演) ハラスメントのない企業風土づくりは経営 者の役割 コンプライアンス経営 コンプライアンス経営 企業価値を創造するコンプライアンス経営 企業のガバナンス及び法令を理解しトップ の役割を考える コンプライアンス経営を実現するための組 織づくり コンプライアンスへの取組が企業価値を創 造する リスクマネジメント 改正個人情報保護法——仮名加工情報、個 人関連情報、越境移転に関する規制を中心 として—— 他社事例から学ぶ経営幹部の役割・責任 近年の改正法の論点とコンプライアンス経 営のポイント——個人情報保護法における 利活用と規制強化の新規定を中心として | 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 | 2022年1月14日 2022年1月31日 2022年2月4日 2022年2月24日 2022年2月25日 2022年3月23日 2022年5月12日 2022年6月3・ 17・30日、9月 8・14日 (5回開催) 2022年7月4日 2022年8月24日 2022年9月27日 | 住友電装株式会社 中日本高速道路株式 会社 株式会社 日立製作 所 積水化学工業株式会 社 第一カッター興業株 式会社 東北電力株式会社 静岡ガス株式会社 株式会社富士通ゼネ ラル メットライフ生命保 険株式会社 東邦ガス株式会社 中外製薬株式会社 | 住友電装グループ役員研修、於同社本社 (三重) 同社 所長研修で招聘講義、オンラインで 実施 日立製作所グループ役員向け研修で招聘 講演、オンラインで実施 同社 経営者層向け研修で招聘講義、同 社本社(東京)及びオンラインのハイブ リッドで実施 同社 役員勉強会で招聘講義、オンライン で実施 東北電力グループ企業倫理・法令遵守セ ミナー(山形支社主催)で招聘講義、オ ンラインで実施 静岡ガスグループ管理職向けコンプライ アンス研修で招聘講義、同社本社(静岡) 及びオンラインのハイブリッドで実施 同社 リスクマネジメント研修で招聘講 義、同社本社(神奈川)及びオンライン のハイブリッドで実施 同社 執行役・執行役員研修で招聘講演、 同社本社(東京)及びオンラインのハイ ブリッドで実施 東邦ガスグループ 経営層・部長層向け講 演会で招聘講演、同社本社(名古屋)及 びオンラインのハイブリッドで実施 同社 アドバイザリーコミッティで招聘講 演、同社本社(東京)及びオンラインの ハイブリッドで実施 |

社会安全学研究 第13巻

| | | | | |
|---|----|-----------------------|-------------|---|
| 企業価値創造に向けたグループ・リスクマネジメントの全体像 | 単独 | 2022年9月29日 | 西日本旅客鉄道株式会社 | JR西日本グループ リスクマネジメント・トップセミナーで招聘講演、同社本社(大阪)及びオンラインのハイブリッドで実施 |
| コンプライアンス経営 | 単独 | 2022年10月4日 | 中日本高速道路株式会社 | 同社 所長研修で招聘講義、オンラインで実施 |
| 事例から学ぶハラスメントとマネジメント | 単独 | 2022年10月6日 | 株式会社アデランス | 同社 国内事業本部会議で招聘講義、オンラインで実施 |
| コンプライアンス経営 | 単独 | 2022年10月27日 | 中日本高速道路株式会社 | 同社 部長研修で招聘講義、オンラインで実施 |
| 他社事例に学ぶ不祥事予防と危機対応 | 単独 | 2022年11月22日 | 西日本旅客鉄道株式会社 | JR西日本グループ「企業倫理・ビジネスと人権」に関する管理職研修で招聘講義、講演録画のオンデマンド配信(2022年12月より配信) |
| ビジネスと人権——人権問題の動向と関西電力グループの取組—— | 単独 | 2022年12月13日 | 関西電力株式会社 | 関西電力グループ 人権講演会で招聘講演、同社本社(大阪)においてオンラインで実施 |
| 役員のためのコンプライアンス経営 | 単独 | 2022年12月15日、19日(2回実施) | 株式会社日立システムズ | 日立システムズグループ 役員ガバナンス研修で招聘講義、オンラインで実施 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本経営倫理学会 理事(2011年6月～)、常任理事(2017年6月～現在) | | | | |
| 情報ネットワーク法学会 監事(2012年1月～現在)、同学会ネット社会法務研究会 主査(2019年3月～2021年3月) | | | | |
| 日本リスクマネジメント学会 監事・評議員(2008年9月～2021年3月)、理事(2021年3月～現在) | | | | |
| ソーシャルリスクマネジメント学会 理事(2013年～現在) | | | | |
| 堀部政男情報法研究会 理事(2010年4月～)、監事(2019年1月～現在) | | | | |
| 日本DPO協会 顧問(2020年1月～現在) | | | | |
| 日本リスク研究学会 会員 | | | | |
| 法とコンピュータ学会 会員 | | | | |
| 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員 | | | | |
| 情報法制学会 会員 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 経営倫理実践研究センター フェロー(2010年4月～)、主任研究員(2011年4月～)、上席研究員(2012年4月～現在) | | | | |
| 日本経営倫理士協会 理事(2013年7月～現在) | | | | |
| 神戸市 個人情報保護審議会 委員(2016年2月～現在)、制度審議部会 委員(2021年11月～現在) | | | | |
| 神戸市 行政データの利活用に関する有識者会議 委員(2022年4月～現在) | | | | |
| 情報法制研究所 参与(2016年5月～現在) | | | | |
| 株式会社アデランス 社外取締役(2016年5月～現在) | | | | |
| 関西電力株式会社 経営監査委員(2014年7月～2021年6月)、ビジネスと人権 アドバイザー(2021年12月～現在) | | | | |
| 公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員(2014年11月～現在) | | | | |
| 中外製薬株式会社 アドバイザー・コミッティー委員(2016年1月～現在) | | | | |
| 西日本旅客鉄道株式会社 アドバイザー(2018年3月～現在) | | | | |
| 西日本高速道路株式会社 コンプライアンス委員会 委員(2021年4月～現在) | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| ✓2022年6月20日、編集長として日本経営倫理学会『サステナビリティ経営研究 第2号』の発刊を行った(編集実務は林順一先生) | | | | |
| ✓2021年8月27日、日本経営倫理学会「2022年度研究法ワークショップ」で講演とパネルチェア、法政大学及びオンラインのハイブリッドで実施 講演テーマは「本学会の citation rule と著作権、被調査者の個人データ保護」 パネルディスカッションのテーマは「評価される査読論文・学位請求論文を執筆するにはどうすれば良いか」 | | | | |
| ✓2022年10月11日、日本経営倫理学会理事コラム「法務コンプライアンス部門、CSR部門の変遷と社会安全政策論への示唆」寄稿 | | | | |
| ✓2022年11月15日、経営倫理実践研究センター アドバイザーコラム「個人情報保護法と国際協調」寄稿 | | | | |
| ✓CSRレポート等の第三者意見の執筆 「第三者意見」所収「日本ガイシ NGK Report 2022」2022年、p.97 | | | | |

研究業績

■ 高橋 智幸

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) Modeling of sediment transport in rapidly-varying flow for coastal morphological changes caused by tsunamis | 共著 | 2022年7月 | Trans Tech Publications | Marine Geology, Vol.449, Kei Yamashita, Yoshiki Yamazaki, Yefei Baid, Fumihiko Imamura, Kwok Fai Cheung, 査読有, https://doi.org/10.1016/j.margeo.2022.106823 |
| (その他、論考・研究資料等) 災害を知り、想像し、そして備える | 単著 | 2022年6月20日 | 中央経済 | 旬刊経理情報、通巻No1647、談・論 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 週上津波の圧力勾配及び浮遊砂流の影響を考慮した津波土砂移動解析 | 共同 | 2022年3月7日 | 日本船舶海洋工学会・日本海洋工学会 | 第29回海洋工学シンポジウム、山下啓、菅原大助、オンライン |
| Artificial Bailout of Polyps and their Immobilisation on Titanium Substrates | 共同 | 2022年11月26日 | Australian Coral Reef Society | The ACRS 2022 conference, Nanako Kosaka, Masato Ueda, Bridnsnr, Australia |
| Highly Efficient Coral Propagation using Regenerative Medicine Techniques | 共同 | 2022年11月26日 | Australian Coral Reef Society | The ACRS 2022 conference, Masato Ueda, Nanako Kosaka, Bridnsnr, Australia |
| (招待講演) 大学から見たSDGs — 関西大学の取り組みを例として — | 単独 | 2022年2月16日 | 日本化粧品技術者会西日本支部 | 日本化粧品技術者会勉強会、オンライン |
| SDGs 達成に向けた大学の役割 — 教育、研究、社会貢献におけるSDGsの取り組みと活用 — | 単独 | 2022年2月17日 | 日本経済新聞社、日経BP | 日経SDGsフェス大阪関西 — 2025年大阪・関西万博に向けて —、オンライン |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 原子力規制庁 共同研究 | 分担 | 2021~2023年 | 0 | 既往の巨大津波の波源推定 — 1611年慶長 三陸地震津波を例として — |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本土木学会 日本地震学会 日本自然災害学会 日本災害情報学会 日本地球惑星科学連合 大規模災害対策研究機構 American Geophysical Union | | | | |
| (社会貢献活動) 土木学会 原子力土木委員会 委員 土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長 土木学会 海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン小委員会 委員 土木学会 海岸工学委員会 論文集編集小委員会 委員 土木学会 海洋開発論文集査読小委員会 委員 日本自然災害学会 科学編集委員会 委員 The IUGG Joint Tsunami Commission Member Journal of Disaster Research Editorial Board Member 文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員 国土交通省 東北地方整備局 リバーカウンセラー 原子力規制委員会 原子炉安全専門審査会 臨時委員 原子力規制委員会 核燃料安全専門審査会 臨時委員 防災科学技術研究所 津波ハザード・リスク情報の高度利用に関する委員会 委員 大阪府 石油コンビナート等防災本部 専門員 沖縄県 高潮浸水シミュレーションモデルの構築等に係るアドバイザー | | | | |

高槻市 都市計画審議会 委員
国立大学法人愛媛大学 客員教授
特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 副理事長
財団法人防災研究協会 非常勤研究員

■ 土田 昭 司

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|---|--|
| (学術論文) ワクチン接種に対する人々の対応 | 単著 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部(編)『検証 COVID-19災害』230-247. |
| 新型コロナウイルス感染症に対する認識の 変化：ワクチン接種に対するリスク認知に 着目して | 共著 | 2022年3月 | 社会安全研究センタ ー | 社会安全学研究, 第12巻, 47-59.(査読 有)(浦山郁, 土田昭司) [DOI: 10.32286/00026526] |
| 災害に起因する移住と帰還行動：2011年福 島第一原子力発電所事故を事例として | 共著 | 2022年3月 | 社会安全研究センタ ー | 社会安全学研究, 第12巻, 47-59.(査読 無)(永松伸吾, 越山健治, 土田昭司, 永 田尚三, 菅磨志保, 河田恵昭, 関谷直也, 廣井悠) [DOI: 10.32286/00026528] |
| 新型コロナウイルス感染症流行ならびにそ のワクチンに対する2021年10月までの市民 の対応の変化 | 共著 | 2022年9月 | 日本リスク学会 | リスク学研究, 第32巻, 第12号, 43-56. (査読有)(土田昭司, 静間健人, 浦山郁) [DOI: 10.11447/jjra.SRA-0403] |
| 日本における防災の実態と防災関与の研究 | 共著 | 2022年9月 | 福村出版 | 日本応用心理学会企画『応用心理学ハン ドブック』772-773. (静間健人, 土田昭 司) |
| (その他、論考・研究資料等) 将来世代に対する倫理 | 単著 | 2022年4月 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会誌, 64(4), 237 [DOI: 10.3327/jaesjb.64.4_237] |
| 第三者意見 | 単著 | 2022年6月 | 西日本高速道路株式 会社 | NEXCO 西日本グループレポート2022, 57. |
| 原子力におけるリスクコミュニケーション とは何か？ | 単著 | 2022年11月 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会誌, 64(11), 644-645. [DOI: 10.3327/jaesjb.64.11_644] |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 社会心理学的視点からの見解 (企画セッション「『風評』と「風評被害」 を再考する：トリチウム処理水の海洋放出 をめぐって」) | 単独 | 2022年3月18日 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会2022年春の年会 (Online) |
| Ethical and societal considerations associated with future generations in the application of the concepts of tolerability and reasonableness | 単独 | 2022年3月23日 | International Commission on Radiological Protection (ICRP) | Task Group 114 [Reasonableness and Tolerability in the System of Radio- logical Protection] meeting (Online) |
| 新型コロナワクチン接種を拒む人 (企画セッション「新型コロナウイルス感染 症流行第6波までのワクチン接種にかかる 市民のリスク認知と社会」) | 共同 | 2022年11月13日 | 日本リスク学会 | 第35回日本リスク学会年次大会(京都大 学桂キャンパス)(土田昭司, 静間健人, 浦山郁) |
| コロナ禍において重視する生活領域と諸活 動の関連 (企画セッション「新型コロナウイルス感染 症流行第7波までのワクチン接種にかかる 市民のリスク認知と社会」) | 共同 | 2022年11月13日 | 日本リスク学会 | 第35回日本リスク学会年次大会(京都大 学桂キャンパス)(静間健人, 土田昭司, 浦山郁) |
| 第6波までの新型コロナウイルス感染症に 対する思いの変化 (企画セッション「新型コロナウイルス感染 症流行第8波までのワクチン接種にかかる 市民のリスク認知と社会」) | 共同 | 2022年11月13日 | 日本リスク学会 | 第36回日本リスク学会年次大会(京都大 学桂キャンパス)(浦山郁, 土田昭司, 静 間健人) |
| A case study of disaster risk analysis in Schools for blind in Thailand | 共同 | 2022年12月5日 | The Society for Risk Analysis (SRA) | Annual Meeting 2022 (Tampa, USA) (Wongsuriyanan, C., Tsuchida, S.) |
| (招待講演) リスクコミュニケーション：理解と信頼の 構築 | 単独 | 2022年1月19日 | 一般社団法人 日本 原子力文化財団 | 「地層処分事業の理解に向けた自主企画 支援事業」[北海道稚内市] |
| リスクコミュニケーション実践研修 | 単独 | 2022年1月27日 | 公益財団法人 若狭 湾エネルギー研究セ ンター | 経済産業省「令和3年度原子力産業基盤 強化研修」(若狭湾エネルギー研究セン ター [福井県敦賀市]) |

社会安全学研究 第13巻

| 原子力とリスクコミュニケーション (1) : 原子力におけるリスクコミュニケーションとは何か? | 単独 | 2022年5月13日 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会(社会・環境部会) ウィークリーウェビナー (Online) |
|---|-----------|---------------|---|---|
| 緊急事態における安全を心理学から考える | 単独 | 2022年8月2日 | 関西大学 | 2022年度教職員対象研修講座(関西大学[大阪府吹田市]) |
| リスクコミュニケーション: 理解と信頼の構築 | 単独 | 2022年10月30日 | 一般社団法人 日本原子力文化財団 | 「地層処分事業の理解に向けた自主企画支援事業」(Online) |
| The Japanese response to COVID-19 pandemic and its vaccination | 単独 | 2022年11月18日 | Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis (SRA-Asia) | The Society for Risk Analysis Asia Conference 2022 [Keynote Speech] (Seoul, Korea & Online) |
| 資金制度・研究費名 | 役割(代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)[基礎研究(C)] | 代表 | 2018年度-2022年度 | 2,091(3,900) | 中国における災害時パニックおよび災害時クレーズの発生要因についての研究 |
| 東北電力ネットワーク株式会社「受託研究」 | 代表 | 2022年度 | 1,754(1,754) | EMF コミュニケーションの動向調査研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 国際リスク解析学会(フェロー)[The Society for Risk Analysis (Fellow)] | | | | |
| アジアリスク解析学会(会長, 後会長)[The Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis (President, Past-President)] | | | | |
| 日本リスク学会(表彰委員長) | | | | |
| 日本原子力学会(社会・環境部会長) | | | | |
| 日本保健物理学会 | | | | |
| 日本災害情報学会 | | | | |
| 日本行動計量学会 | | | | |
| 日本心理学会 | | | | |
| 日本社会心理学会 | | | | |
| 日本グループ・ダイナミックス学会 | | | | |
| 日本応用心理学会 | | | | |
| 日本消費者行動研究学会 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 国際放射線防護委員会, 「TG114」委員 [International Commission on Radiological Protection (ICRP) Task Group (TG) 114 (Member)] | | | | |
| (一般社団) 日本原子力学会, 「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会主査 | | | | |
| (一般社団) 日本保健物理学会, 「人文・社会科学視点から考察する自然起源放射性物質含有廃棄物の取扱い専門研究会」委員 | | | | |
| (一般社団) 日本リスク学会, 「リスクコミュニケーション事例研究」タスクグループ・メンバー | | | | |
| (公益財) JR西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員 | | | | |
| (国立研究開発) 情報通信研究機構, 「電波ばく露レベルモニタリングに関するリスクコミュニケーション委員会」委員 | | | | |
| 財電気安全環境研究所, 経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員 | | | | |
| 財電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員 | | | | |
| 財電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー | | | | |
| 財大阪科学技術センター, 「電磁界(EMF)に関する調査研究委員会」委員 | | | | |
| 西日本高速道路株式会社, 「CS推進オビオンリーダー」委員長 | | | | |
| (NPO法人) 安全安心科学アカデミー, 「放射線安全管理士」資格認証運営委員 | | | | |

研究業績

■ 永田尚三

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|----------------------|--------------------------------|---|
| (著書) 港区史近代 消防 | 分担執筆 | 2022年3月 | 港区 | 港区総務課編、上巻136-139、298-301、 下巻123-126、279-283 |
| (学術論文) 国のCOVID-19対応 | 単 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 検証COVID-19災害、85-100 |
| わが国における市町村消防行政の現状分析 | 単 | 2022年3月 | 武蔵野大学政治経済 研究所 | 武蔵野大学政治経済研究所年報21、167- 207 |
| 新型コロナウイルス感染症対応の課題と今 後の危機管理のあり方について | 単 | 2022年3月 | 日本都市センター | 都市とガバナンス37、38-47、査読有 |
| 欧州におけるオールハザード型危機管理体 制の最新動向 | 単 | 2022年3月 | 関西大学社会安全学 部 | 社会安全学研究第12巻、3-19、査読有 |
| (その他、論考・研究資料等) 「町火消」消える？ 立て直し策は | 単 | 2022年5月 | 時事通信社 | jiji.com |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 危機への対応における行政の臨時性・時限 性・一時性——災害時新業務の日常化とい う臨時性の崩壊にわが国の行政はどのよう に対応すべきか—— | 単 | 2022年5月22日 | 日本行政学会 | 日本行政学会共通論題Ⅱ(行政の臨時性)、 東京大学 |
| (招待講演) 地域防災力のさらなる向上に向けた取組に ついて | 単 | 2022年1月19日 | 京都府議会 | 京都府議会危機管理・建設交通常任委員 会 参考人招致、京都府議会 |
| 地域防災と自助・共助の重要性——地域に よる自主防災と行政との協働で災害に備え る—— | 単 | 2022年6月18日 | 高槻市 | 高槻市令和4年度防災講演会、関西大学 ミュージアムホール |
| COVID-19災害で見えてきた行政の危機管 理上の課題と今後 | 単 | 2022年8月27日 | 関西大学教育後援会 関西大学校友会 | 関西大学 関西大学教育後援会 関西大学 校友会 特別講演、ホテル東京ガーデンパ レス |
| 災害に強い日本を創る～国と地方自治体が行 うべきこととは何か | 単 | 2022年9月4日 | 進歩総合研究所 | 進歩総合研究所第2回シンポジウム、リ モート |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科学研究費助成事業 基盤研究(C) | 代表 | 2021年4月- 2024年3月 | 1100 | 特殊災害に対する実効性のある危機管理 体制、中央地方関係についての研究 |
| 国立研究開発法人防災科学技術研究所 災 害レジリエンス向上のための社会的期待発 見研究 | 代表 | 2021年10月- 2022年3月 | | CPS4Dの利活用による統合災害動態情報 に基づく意思決定支援基盤の構築 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本公共政策学会(理事、事務局長～2022年6月) 日本行政学会 日本オンブズマン学会(理事) 日本政治学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 株式会社タスキテック 顧問 一般社団法人共生社会支援協議会(RASA) 理事長 政策研究フォーラム 理事 奈良県広域消防組合消防本部組合企画調整会議 アドバイザー 出雲市消防団改革推進委員会 アドバイザー 高槻市水道事業審議会委員 高槻市産業振興審議会委員 | | | | |

(その他業績として記載を希望する事項)

「消防音楽隊 存続の危機」「京都67年の歴史に幕」「命名権売却/PR 動画作成」消防音楽隊の役割と財政の影響について, 読売新聞 夕刊 8面 2022年2月24日コメント

「若い世代が取り組む防災」, NHK ラジオ ラジオ防災講座 第7回 NHK ラジオ第1 2022年3月4日コメント

地域の消防活動の担い手増やせ!, NHK ラジオ NHK ジャーナル 2022年3月15日コメント

減り続ける消防団員 統合・廃止のいま, 求められる役割とは, 朝日新聞 新潟県版, デジタル版 2022年3月17日コメント

消防団訓練見直し 水害や地震備え実践型に, 山陰中央新報 2022年4月26日コメント

情緒か, 安全優先か レトロな「木造密集地」火災対策に苦慮, 毎日新聞 2022年4月27日コメント

古いビル, 避難路確保遅れ, 日本経済新聞 朝刊 2022年5月13日コメント

感染症BCP 県内39市町村6割未策定, 読売新聞 奈良版 2022年5月14日コメント

「消防団員の報酬 直接支給は64% 消防庁調査 県内市町村」「全国平均を下回る」, 秋田魁新報 27面 2022年5月18日コメント

「旦過市場」火災, 管理会社が防火管理者置かず…市消防局の要請2年放置「認識が甘かった」, 読売新聞 西部本社版 朝刊 社会 2022年5月20日コメント

報酬は渡さない 通帳・カードを回収する消防団の驚くべき手口, 毎日新聞 2022年6月14日コメント

「北部地震4年 教訓生かす」「地域防災 人材育成が必要」「高槻 永田関大教授が講演会」高槻市主催の防災講演会で, 永田教授が「地域防災と自助・共助の重要性」をテーマに講演, 読売新聞 朝刊 25面 2022年6月19日

迅速な避難情報が課題, 秋田魁新報社 2022年8月24日コメント

久喜市消防団 酒宴に市費 19年の視察研修 温泉で1泊, 東京新聞 首都圏ニュース 埼玉 2022年10月20日コメント

苦楽園大丸地区の移管問題, 毎日放送 よんチャンTV 2022年11月7日コメント

大阪ビル放火 避難路の拡充急ぐ, 階段1カ所が被害拡大, 日本経済新聞 朝刊 2022年12月18日コメント

危機管理に疑問の声 決定・判断 遅れる可能性 関西大学の永田教授, 中国新聞 朝刊 24面 2022年12月20日コメント

研究業績

■ 永松伸吾

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------------|--------------------------------|---|
| (著書) 経済発展はパンデミックによる人命リスクを軽減するか | 単独 | 2022年02月20日 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編「検証・COVID-19災害」 |
| (学術論文) 地域高齢者の災害準備の現状と課題 JAGES2019による検討 | 共著 | 2022年 | 地域安全学会 | 地域安全学会論文集41, 73-81, 2022. 大塚理加, 尾島俊之, 宮國康弘, 高杉友, 松川杏寧, 島崎敢, 池田真幸, 李泰榮, 近藤克則 |
| 2022年1月トンガ諸島の火山噴火に伴う津波に対する避難行動の特性 | 共著 | 2022年 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会2022年春大会予稿集, 柴山和久・加藤有祐・鈴木進吾 |
| 巨大災害リスクと保険の役割——リスク・ファイナンスからレジリエンス・ファイナンスへ—— | 共著 | 2022年 | 保険学雑誌 | 保険学雑誌, 657, 117-126, 2022. 柏木柚香・千葉洋平 (招待論文) |
| 巨大災害における雇用対策——災害社会科学から学ぶ | 単著 | 2022年 | 日本労働研究雑誌 | 日本労働研究雑誌2022年12月号 (No.749), 38-47. (招待論文) |
| コロナ禍におけるキャッシュ・フロー・ワーク | 単著 | 2022年 | 地域安全学会 | 地域安全学会梗概集, No.50, 203-206. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) コロナ禍におけるキャッシュ・フロー・ワーク | 単著 | 2022 | 地域安全学会 | 地域安全学会梗概集, No.50, 203-206. |
| (招待講演) 防災政策におけるリスク評価とその活用 | 単独 | 2022年6月24日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会年次春季シンポジウム「社会課題の解決につながるリスク評価とは？」(オンライン) |
| エビデンスに基づく復興政策評価の必要性 | 単独 | 2022年7月2日 | みやぎボイス連絡協議会 | 「D 復興検証のテーマ——様々な立場から考える復興検証の目的とその中心——」みやぎボイス2022「災害が日常になった今」(せんだいメディアテーク1Fオープンスクエア+オンライン) |
| 巨大災害からの経済復興過程と復興支援方策に関する研究 | 単独 | 2022年8月19日 | 地域安全学会 | 地域安全学会夏の学校2022 (神奈川大学) |
| Evolution of Disaster Management Policy in Japan: Theory and Practice | 単独 | 2022年8月30日 | Universidade Eduardo Mondlane | Invited Lecture, Maputo, Mozambique |
| Evolution of Disaster Management Policy in Japan: Theory and Practice | 単独 | 2022年9月6日 | Licungo University | Invited Lecture, Quelimane, Mozambique |
| 来るべき巨大災害への対策：企業に期待されることは何か？ | 単独 | 2022年9月13日 | 経済同友会 | 防災・震災復興委員会 (オンライン) |
| レジリエンスで巨大災害を迎え撃つ | 単独 | 2022年11月23日 | 関西大学校友会 | 関西大学校友会生駒支部総会 (奈良市) |
| 国難級災害による経済的ダメージ | 単独 | 2022年12月15日 | 株式会社ハイテクノロジー推進研究所 | マルチメディア推進フォーラム (オンライン) |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) RISTEX SOLVE for SDGs | 協働実施者 | 2020年度～ 2022年度 | 2,332 (11,991) | 災害感応度の高い都市圏の災害連鎖の動的予測を可能にするシナリオ策定 (研究代表者：渡辺研司) |
| 科研費基盤 A | 分担 | 2018年度～ 2022年度 | 0 (44,720) | 水害時における避難行動理論の構築 (研究代表者：片田敏孝) |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本公共政策学会, 日本経済学会, 日本計画行政学会, 地域安全学会, 日本自然災害学会, 日本リスク研究学会, 日本災害復興学会, 日本災害情報学会, 日本保険学会, Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society | | | | |
| (社会貢献活動) 文部科学省科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 防災科学技術委員会 委員 | | | | |

総務相消防庁「消防を取り巻く変化を踏まえた消防防災研究会」 委員
内閣府（防災担当）「日本版 ICS 等に関する基礎的調査・検討」 有識者
防災科学技術研究所「社会的期待発見研究推進委員会」 委員長
日本リスク学会表彰委員会 委員

（その他業績として記載を希望する事項）

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 部門長（クロスアポイントによる兼任）

研 究 業 績

■ 中 村 隆 宏

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-----------------------|--------------------------------|---|
| (著書) 検証 COVID-19災害 | 分担 | 2022年 2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編, 第9章 雇用・ 労働者・市民生活への影響 1 COVID- 19による雇用情勢への影響 pp.153-162 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基 盤開発推進研究事業 | 分担 | 2022年 4月～ 2024年 3月 | | ドクターヘリの効果的な運用と安全管理 に関する研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本心理学会 正会員 | | | | |
| 日本応用心理学会 正会員 | | | | |
| 日本人間工学会 正会員 | | | | |
| 日本交通心理学会 正会員 | | | | |
| 産業組織心理学会 正会員 | | | | |
| 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 | | | | |
| 土木学会 正会員 | | | | |
| 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員 | | | | |
| 日本航空医療学会 正会員 | | | | |
| 日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員 | | | | |
| 安全工学会 学術委員会委員 正会員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| 東京電力パワーグリッド株式会社 リスクアセスメントにおける課題・問題点への改善指導, 他 2022年 4月～2022年 3月 | | | | |
| 一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師 2022年 6月 1日～11月30日 | | | | |
| 大阪府交通安全協会 安全運転管理者講習 講師 2022年 4月～2023年 3月 | | | | |
| 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター ― 第1回川崎重工業株式会社ライン長研修 講師 2022年 9月 8日 | | | | |
| 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター ― 第10回安全衛生専門講座 安全心理コース ヒューマンエラー災害防止対策 講師 2022年10月31日～11月 2日 | | | | |
| センコーグループホールディングス株式会社 プロドライバーへの安全教育カリキュラム策定に関するコンサルティング 2022年 4月～ 2023年 3月 | | | | |
| 株式会社シーテック 安全管理についての指導・支援 2022年11月～2023年 3月 | | | | |

■ 西村 弘

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|---------|-------|---|
| (学術論文) 東日本大震災後の交通の復旧と課題 | 単著 | 2021年9月 | 交通権学会 | 『交通権』第37・38合併号, 2022年8月, 2-10頁 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本交通学会 日本海運経済学会 港湾経済学会 交通権学会 公益事業学会 日本物流学会 日本環境会議 | | | | |
| (社会貢献活動) 公益財団法人 地域再生センター (通称あおぞら財団) 評議員 高槻市都市再生整備計画事後評価委員会 委員長 京都市域タクシー準特定地域協議会 会長 広島交通圏タクシー準特定地域協議会 会長 大阪タクシーセンター 評議員 近畿貸切バス適正化センター 諮問委員会 委員長 大阪市域タクシー準特定地域協議会 会長 | | | | |

研究業績

■ 林 能 成

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|--------------------------------|--|
| (学術論文) 南海トラフ地震情報の報道における論点の抽出を目的としたワークショップの試み —「西半割れ」ケース— | 共著 | 2022年6月 | 日本地震工学会 | 日本地震工学会論文集, vol.22, p.2_88-2_108, 大谷竜・入江さやか・中鉢奈津子・福島洋・横田崇・堀高峰・橋本徹夫・隈本邦彦・岩田孝仁・谷原和憲・兵藤守・橋本学と共著(査読有). |
| (その他, 論考・研究資料等) 石碑と墓碑でたどる地震の歴史(1)大地震 両河口津浪記と南海地震 | 単著 | 2022年11月 | アグネ技術センター | 金属, vol.92, No.11, p.103-108. |
| 石碑と墓碑でたどる地震の歴史(2)日本における地震学のはじまり | 単著 | 2022年12月 | アグネ技術センター | 金属, vol.92, No.12, p.71-76. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 防災意識の地域差に与える地震学的情報の考察 | 共同 | 2022年10月26日 | 日本地震学会 | 日本地震学会秋季大会, 北海道立市民活動センター, 札幌市(元吉忠寛と共同). |
| Risk perception and Disaster preparedness in Japan | 共同 | 2022年12月5日 | Society for Risk Analysis | Society for Risk Analysis Annual Meeting, Tampa Marriott Water Street, FL, USA(元吉忠寛と共同). |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科学研究費・基盤研究(B) | 分担 | 2019-2022 | 400(1,500) | 評価値のばらつきに応じた空間解像度で表示するUPM理論の構築 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本地震学会 歴史地震研究会 Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 静岡大学防災総合センター客員教授(2016-) 公益社団法人日本地震学会, 代議員(2006-) 日本金属プレス工業協会, 理事(2016-) 安全環境委員会・委員(2013-) | | | | |

■ 廣 川 空 美

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|---------------------|---|---|
| (学術論文) Associations between occupational status, support at work, and salivary cortisol levels | 共著 | 2022年6月 | International Society for Behavioral Medicine | International Journal of Behavioral Medicine, 29(3), 299-307. T. Ohira; M. Nagao; M. Nagayoshi; H. Imano; M. Kajjura; A. Kitamura; M. Kiyama; T. Okada; H. Iso, データ解析および執筆を担当, 査読あり |
| Associations of testosterone and cortisol concentrations with sleep quality in Japanese male workers | 共著 | 2022年9月 | International Society of Psychoneuroendocrinology | Comprehensive Psychoneuroendocrinology, 9:12:100158. Fujii Y., Taniguchi T., Tsujishita M, データ解析および執筆を担当, 査読あり |
| Associations between salivary testosterone levels and cognitive function among 70-year-old Japanese elderly: a cross-sectional analysis of the SONIC study | 共著 | 2022年12月 | 日本老年医学会 | Geriatrics & Gerontology International, 22(12): 1040-1046. Kasuga A, Matsumoto K, Omori Y, Masui Y, Nakagawa T, Ogawa M, Ishioka I, Inagaki H, Ikebe K, Arai Y, Ishizaki T, Kamide K, Gondo Y., データ解析および執筆を担当, 査読あり |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 国や地域の文化的価値観と高齢者の幸福感との関連: SHARE データによる13カ国の分析 | 共同 | 2022年11月12日 | 日本老年医学会 | 第33回日本老年医学会近畿地方会, 大阪大学 |
| アメリカ合衆国における高齢者の抑うつ感の地域差: HRS データ分析 | 共同 | 2022年11月12日 | 日本老年医学会 | 第33回日本老年医学会近畿地方会, 大阪大学 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科学研究費(基盤(C)) | 代表者 | 2020年4月～ 2023年3月 | 1,878 | 高齢者の幸福感に及ぼす文化的影響に関するマルチレベル研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本心理学会会員 日本産業衛生学会会員 日本健康心理学会(2014年4月～2017年6月まで 健康心理学研究編集員, 2015年6月から現在に至る 代議員) 日本公衆衛生学会会員(2016年9月～現在に至る モニタリング・レポート産業保健グループ) 日本ストレスマネジメント学会(2020年4月～2023年3月まで理事, 編集委員) 日本疫学会員(2017年6月～2020年2月まで代議員 2017年～2022年まで広報委員) | | | | |

研 究 業 績

■ 細 川 茂 雄

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|------------|---|---|
| (著書) 技術資料 流体計測法<改訂版> | 分担執筆 | 2022年4月 | 丸善出版 | 3.6, pp.106-114, 6.2.3b, pp.205-206, 6.3.1a, pp.206-208, 6.3.2c, p.216, 6.3.3b, p.219, 6.3.4b, pp.222-223, 応 用編1.7.2, pp.383-388 |
| (学術論文) 飽和蒸気と空気の混合気体の流れにおける 温度と蒸気質量分率の分布 | 共著 | 2022年1月 | 日本混相流学会 | 混相流, 36巻, 2号, pp.255-265, 村瀬 道夫, 歌野原陽一, 富山明男 (査読有) |
| Single Contaminated Drops Falling through Stagnant Liquid at Low Reynolds Numbers | 共著 | 2022年1月 | MDPI | Fluids, Vol.7, No.2, 55, Kosuke Hayashi, Yuya Motoki, Matheus J. A. van der Linden, Niels G. Deen, Akio Tomiyama (査読有) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) Influence of Air Entrainment on Quenching of a Solid Sphere | 共同 | 2022年10月 | European- American-Japanese Two-phase flow group meeting | European-American-Japanese Two- phase flow group meeting 2022 |
| マイクロバブルによる河川水浄化に向けた 一実験 | 共同 | 2022年8月 | 日本混相流学会 | 混相流シンポジウム2022, オンライン |
| 水流による管路内油性付着物の除去に及ぼ す微細気泡の影響 | 共同 | 2022年9月 | 日本流体力学会 | 日本流体力学会年会2022, 京都大学 |
| (招待講演) 光学的流速計測と計測結果からの流体情報 抽出 | 単独 | 2022年1月25日 | 日本機械学会 | RC286「流れの先進的計測・シミュレ ーション法と流体情報の高度利用に関する 研究分科会」第4回分科会, オンライン |
| 物質移動によるマイクロバブルの気泡径変 化 | 単独 | 2022年3月24日 | 京都大学 | 微細気泡勉強会 (RISHセミナー), オン ライン |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本機械学会, 動力エネルギーシステム部門運営委員会委員・学会企画委員会委員長, 流体工学部門運営委員会委員・代議員 日本原子力学会 日本混相流学会, 理事, 混相流技術リエゾン専門委員長 日本伝熱学会, 関西支部常任幹事 日本航空宇宙学会 日本流体力学会 自動車技術会 可視化情報学会 American Institute of Aeronautics and Astronautics (AIAA) | | | | |
| (社会貢献活動) Experimental Thermal and Fluid Science (Elsevier), Editor 21st International Symposium on Application of Laser and Imaging Techniques to Fluid Mechanics, Advisory Committee Member ICMF (International Conference on Multiphase Flow) Governing Board Member 一般社団法人 原子力安全推進協会 原子力防災訓練検討委員会 A 会議 アドバイザリーボード委員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 日本混相流学会賞 技術賞 神戸製鋼所との共同研究 原子燃料工業との共同研究 千代田化工建設との共同研究 日本原子力研究開発機構との共同研究 | | | | |

■ 元 吉 忠 寛

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|--------------------------------|---|
| (著書) 災害と感情制御 | 分担執筆 | 2022年3月 | 北大路書房 | 有光興記(監修) 飯田沙依亜・榊原良太・ 手塚洋介(編著) 感情制御ハンドブック pp.276-283. |
| 2021年5月までの人々の心理と行動の変化 | 分担執筆 | 2022年4月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部(編) 検証 COVID-19災害 pp.219-230. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 防災対策と避難行動を促進する情報提示に 関する研究 | 単独 | 2022年1月28日 | 関西大学先端科学技 術推進機構 | 第26回関西大学先端科学技術シンポジウ ム, オンライン開催. |
| 防災意識の地域差に与える地震学的情報の考 察 | 共同 | 2022年10月26日 | 日本地震学会 | 日本地震学会秋季大会, 北海道立市民活 動センター, 札幌市. |
| Risk perception and Disaster prepared- ness in Japan | 共同 | 2022年12月5日 | Society for Risk Analysis | Society for Risk Analysis Annual Meeting, Tampa Marriott Water Street, FL, USA. |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (C) | 代表 | 2020~2023年度 | 1,300 (4,420) | 避難行動を促進するためのレジリエンス 防災の提案 |
| 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B) | 分担 | 2022~2025年度 | 100 (17,160) | 情報伝達の多側面に着目した実効性の高 い非常時メッセージの原理解明と開発 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本心理学会, 災害研究支援委員会委員 日本教育心理学会, 編集委員 日本グループ・ダイナミックス学会 日本社会心理学会 日本リスク学会 Society for Risk Analysis American Psychological Association | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 大阪教育大学学校安全推進センター共同研究員 | | | | |

研 究 業 績

■ 山 川 栄 樹

| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
|---|-------|-------------|---------------------------------------|---|
| (学会発表) 滋賀県南部と京都府南部における2種のカブトエビの分布の違い | 単独 | 2022年12月18日 | 日本生態学会近畿地区会・近江地域学会 生きもの豊かな農村づくり研究会 | 第13回琵琶湖地域の水田生物研究会ポスター発表, 滋賀県立琵琶湖博物館 |
| (招待講演) 琵琶湖博物館はしかけ制度参加者による滋賀県の水田における大型鰓脚類の分布調査 | 単独 | 2022年12月18日 | 日本生態学会近畿地区会・近江地域学会 生きもの豊かな農村づくり研究会 | 第13回琵琶湖地域の水田生物研究会シンポジウム「田んぼの生き物を対象とした様々な市民参加型調査とその成果・効果・課題」, 滋賀県立琵琶湖博物館 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (社会貢献活動) 滋賀県立琵琶湖博物館C展示室田んぼコーナー「TNB48」常設展示: カブトエビは田んぼで競争中? 2022年7月5日～ | | | | |

■ 山 崎 栄 一

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|-----------------------|--|
| (著書) 検証 COVID-19災害 | 共著 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 編者 関西大学社会安全学部 本人担当 部分 「はしがき」 i～v 「第7章 COVID-19対策と法規制」120～135頁 |
| (学術論文) 法学から見た避難所外避難者への支援と課題 | 単著 | 2022年3月 | 危機管理レビュー | Vol.13 23～33頁 |
| 論説 被災者・災害時要配慮者への支援の あり方——忘れ去られやすい人々への配 慮 | 単著 | 2022年4月 | 地域防災 | No.43 4～7頁 |
| 土砂災害における避難行動をめぐる法的統 制 | 単著 | 2022年12月 | 地盤工学会誌 | 70巻12号 16～21頁 査読有 |
| (その他、論考・研究資料等) 自然災害科学・防災の百科事典 | 分担執筆 | 2022年1月 | 丸善出版 | 本人担当部分 12章「災害法制」530～ 533頁 13章「災害と法律」574～577頁 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 土砂災害リスクの高い住民等に対する避難 情報の提供と個人情報 | 単独 | 2022年6月3日 | 地盤工学会関西支部 | 地盤工学会関西支部斜面災害のリスク低 減に関する研究委員会 オンライン開催 |
| 災害時における超法規的措置について考える | 共同 | 2022年10月23日 | 防災推進国民大会 2022実行委員会 | ぼうさいこくたい2022年 JICA 関西3F セミナー室31・32 |
| (招待講演) 行政の災害対策と危機管理 | 単独 | 2022年1月22日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール (大阪 府) |
| 予防行政と行政法 | 単独 | 2022年1月31日 | 岐阜県 | 岐阜県消防学校 オンライン開催 |
| 地域における防災士のあり方を考える | コーディネーター | 2022年3月21日 | 大分県 | 令和4年度 大分県防災活動推進交流会 シンポジウム J:COM ホルトホール大 分 小ホール |
| 災害関連法体系基礎 | 単独 | 2022年6月1日 | 人と防災未来センタ ー | 災害対策専門研修(自治体職員向け) オ ンライン開催 |
| 行政の災害対策と危機管理 | 単独 | 2022年6月12日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール (大阪 府) |
| 被災者生活・災害時要援護者対策 | 単独 | 2022年7月30日 | 兵庫県 | 令和4年度 丹波地域ひょうご防災リー ダー講座 やまなみホール |
| 行政の災害対策と危機管理 | 単独 | 2022年8月21日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール (大阪 府) |
| 災害と法 | 単独 | 2022年8月24日 | 大阪府立大学工業高 等専門学校 | 大阪府立大学工業高等専門学校 |
| COVID-19対策をめぐる公法学からの評価 と課題 | 単独 | 2022年8月27日 | 関西大学 | 教育後援会 東京都教育懇談会 特別講 演 検証 COVID-19災害——見えてきた 課題とアフターコロナの社会 ホテル東 京ガーデンパレス |
| 行政の災害対策と危機管理 | 単独 | 2022年9月24日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール (大阪 府) |
| 行政の災害対策と危機管理 行政の災害救 助・応急対策 | 単独 | 2022年11月6日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 西大寺緑花公園内・百 花プラザ(岡山県) |
| 行政の災害対策と危機管理 | 単独 | 2022年11月12日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール (大阪 府) |
| 被災者生活・災害時要援護者対策 | 単独 | 2022年11月26日 | 兵庫県 | 令和4年度 ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター |
| 行政の災害対策と危機管理 | 単独 | 2022年12月11日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール (大阪 府) |

研 究 業 績

| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
|--|---------------|---------------------------|--------------------------------|---|
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・挑戦的研究 (萌芽) | 分担 | 2020～2021年 (2022年まで延長) | 500 (4,800) | 首都直下地震等大規模災害のセーフティ ネットとしての準公営住宅の国際比較研 究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本公法学会 日本社会保障法学会 日本公共政策学会 日本災害復興学会 (総務委員会委員長) 日本災害情報学会 地域安全学会 日本火災学会 日本グループホーム学会 地区防災計画学会 (幹事) | | | | |
| (社会貢献活動) 総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員 関西広域連合 関西広域防災計画策定委員会 委員 高槻市 個人情報保護運営審議会 委員 RASA (地域原子力防災支援協議会) 理事 NPO 法人 障害者自立支援センター ドリームロード 監査 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) ラジオ出演 サロン・ド・防災 テーマ: 災害対策基本法の改正を生かした防災と地域活性化 FM Salus 2022年8月毎週日曜日(4週) 9:40～15分間 Springer's Standard Review Questions for Book Publication のレビューを行った。 | | | | |

■ 岡 本 満喜子

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------------------------|------------------|--|
| (著書) 検証 COVID-19災害 | 共著 | 2022年 2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編。私は第9章雇 用・労働者・市民生活への影響 2 COVID-19とパワーハラスメント対策 (p162-167)を担当した。 |
| (その他、論考・研究資料等) 自動運転の高度化と民事責任の変容 | 単著 | 2022年 7月 | 日本機械学会 | 125巻, 1243号17-20頁 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 運転支援車と従来型車両に対する責任非難 の比較 | 単独 | 2022年 8月 7日 | 日本交通心理学会 | 2022年度(第87回)大阪茨木大会 |
| 自動運転時代の責任追及と事故調査とは | 単独 | 2022年 7月 23日 | 失敗学会 | 第18回失敗学会夏の大会 |
| (招待講演) 事故分析手法 『気づいたリスク』の伝え方——主に中間管 理職から現場へ—— | 単独 単独 | 2022年 4月 19日 2022年 10月 28日 | 運輸安全委員会 近畿運輸局 | 船舶調査官・地方調査官研修 運輸安全マネジメントセミナー2022 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本交通心理学会 日本応用心理学会 日本交通科学学会 産業・組織心理学会 日本機械学会法工学専門会議 業務上過失事件裁判例研究会 | | | | |
| (社会貢献活動) 運輸安全委員会 海事部会委員 同 海事専門部会委員 日本交通心理学会 規程委員会 日本機械学会法工学専門会議 運営委員 社会状況変化に伴う効果的な情報提供・発信のあり方等検討会委員 | | | | |

研 究 業 績

■ 桑 名 謹 三

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|------------|-------------------|---|
| (著書) 検証 COVID-19災害 | 共著 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 担当部分は、第11章 COVID-19対策と 保険制度 (P201-216) |
| アカデミアが挑むSDGs 関西大学の多様 な取り組み | 共著 | 2022年3月 | 関西大学出版部 | 担当部分は、第5章 SDGsとファッ ション (P124-143) |
| (学術論文) 不法行為制度の運営費の経済分析 | 単著 | 2022年7月 | PL研究会 | 新PL研究 第7号, P15-24 (査読有) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) カーボンニュートラルと日本の製鋼業のイ ノベーション戦略 | 共同 | 2022年9月24日 | 日本リスクマネジメ ント学会 | 第47回全国大会 東京エレクトロンホ ール宮城 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境社会学会 法と経済学会 PL研究会 日本私法学会 日本情報ディレクトリ学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 上智大学大学院地球環境学研究科同窓会役員 日本リスクマネジメント学会 評議員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 2022年10月19日に行われた関西大学カーボンニュートラル研究センター設立記念シンポジウムにおける講演 タイトルは、「カーボンニ ュートラル達成への道のりを容易ならしめる金融・保険商品に関する研究」で、開催場所は千里山キャンパス第2学舎4号館BIGホール100 である。 | | | | |

■ 河野和宏

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------------------------|---|--|
| (その他、論考・研究資料等) 津波 AR 制作と地域での活用による防災学習 文理融合学部における AI 教育の実践：文系にもわかりやすい実習を目指して 巻頭言 | 共著 単著 単著 | 2022年3月 2022年9月 2022年9月 | 関西大学なにわ大阪 研究センター 関西大学インフォメ ーションテクノロジー センター 関西大学インフォメ ーションテクノロジー センター | なにわ大阪研究, Vol.4, P1-12 (城下英 行, 林武文, 奥村与志弘) (査読なし) 関西大学インフォメーションテクノロ ジーセンター年報2021, No.12, P3-25 (査 読なし) 関西大学インフォメーションテクノロ ジーセンター年報2021, No.12, P1-2 (査 読なし) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) XR を用いた自己効力感を高めるための地 震体験アプリケーションの開発 | 共同 | 2022年3月7日 | 電子情報通信学会 | 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.417, EMM2021-96, P23-28, オンラ イン (野元颯馬, 河野和宏) (査読なし) (EMM 研究会優秀学生発表賞) |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤 研究 (C) 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤 研究 (C) | 代表 分担研究者 | 2021~2023 2018~2022 | 1040千円 (2990千円) 0千円 (0千円) | ユーザ視点に立脚した情報セキュリティ・ モラル学習ツールの開発 中国における災害時パニックおよび災害 時クレーズの発生要因についての研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM) | | | | |
| (社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM 研), 専門委員 (2020年4月1日~) 電子情報通信学会, 情報・システムソサイエティ和文論文誌編集委員会, 編集委員 (2019年4月1日~) 吹田市個人情報保護審議会委員 (2019年10月~) 門真市個人情報保護審議会委員 (2021年6月~) 経営倫理実践研究センター (BERC), 関西研究会「サイバーセキュリティと企業のリスクマネジメント」(2022年10月31日) | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 情報処理安全確保支援士 (登録番号: 015391) 関西大学 IT センター副所長 (2020年10月~) | | | | |

研究業績

■ 城下 英行

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------------|--|--|
| (著書) 防災教育 | 分担執筆 | 2022年1月 | 丸善出版 | 日本自然災害学会(編)『自然災害科学・ 防災の百科辞典』, pp.504-505 |
| COVID-19が学校に与えた影響 | 分担執筆 | 2022年2月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部(編)『検証 COVID -19災害』, pp.267-283 |
| (学術論文) 津波 AR 制作と地域での活用による防災学 習 | 共著 | 2022年3月 | 関西大学なにわ大阪 研究センター | 『なにわ大阪研究』第4巻, pp.1-12 (城 下英行・林武文・河野和宏・奥村与志弘) |
| Open Science in Seismology: The Role of Citizen Science in the Transition from Seismic Observatory to Science Museum | 共著 | 2022年5月 | International Society for Integrated Disaster Risk Management | IDRiM Journal, 12(1), pp.1-23 (Katsuya Yamori, Yoshihisa Iio, Hideyuki Shiroshita) |
| (その他, 論考・研究資料等) 終わらないコミュニケーションを目指して ——特集にあたって | 単著 | 2022年7月 | 玉川大学出版部 | 『科学技術社会論研究』第20号, pp.1-4 |
| Junior Champions' Work on Avoiding Deaths of Tsunamis | 単著 | 2022年12月 | Avoidable Deaths Network | ADN Newsletter, No.4, Webpage |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) What language do experts employ to facilitate community members' disasters preparedness? | 共同 | 2022年9月23日 | Integrated Disaster Risk Management Society | IDRiM 2022, Online |
| Why did disaster education commence around 2000? | 単独 | 2022年9月23日 | Integrated Disaster Risk Management Society | IDRiM 2022, Online |
| 大阪府内の幼児を対象とした防災教育の現 状調査 | 共同 | 2022年10月8日 | 日本災害情報学会 | 第25回日本災害情報学会, 日本大学三軒 茶屋キャンパス |
| 「防災」が変化する時——和歌山県印南町の 取り組みから | 単独 | 2022年10月9日 | 日本災害情報学会 | 第25回日本災害情報学会, 日本大学三軒 茶屋キャンパス |
| 「驚き」をいかに生み出すのか? 防災の双方向の学びの充実に向けて | 単独 | 2022年11月26日 | 科学技術社会論学会 | 科学技術社会論学会第21回年次研究大 会, 東京工業大学 |
| Operational Earthquake Forecasting in Japan: Local Government Response to Warnings and Advisories for the Nankai Region | 共同 | 2022年12月14日 | American Geophysical Union | AGU Fall Meeting, McCormick Place Convention Center, Chicago, US |
| (招待講演) BCP (事業継続計画) とは | | 2022年1月15日 | 東淀川区薬剤師会 | 第5回東淀川区薬剤師会研修会, オンラ イン |
| 防災は頭だけでは学べない? ~防災の学び を考える~ | | 2022年1月23日 | ペット防災サポート 協会 | ペット防災サポート協会勉強会, オンラ イン |
| 第七中における防災学習について | | 2022年7月22日 | 高槻市立第七中学校 | 校内研修会, 高槻市立第七中学校 |
| 「防災」について「学ぶ」とは? ——近年の 災害事例を踏まえて—— | | 2022年9月1日 | 亀岡市教育委員会 | 令和4年度亀岡市さわやか教室, ガレリ アかめおか |
| クロスロードを活用した総合的な防災学習 に向けて | | 2022年10月24日 | 泉大津市教育委員会 | 令和4年度泉大津市防災学習研修会, 泉 大津市教育センター |
| 生活の中の防災を活かす | | 2022年11月15日 | 岸和田健老大学 | 岸和田健老大学講義, 岸和田健老大学 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 教育研究高度化促進費 | 代表 | 2020年度~ 2022年度 | 65千円 (4322千円) | SDGsの達成に資する統一的な防災対策 の構築 |
| なにわ大阪研究センター公募研究 | 代表 | 2021年度~ 2022年度 | 520千円 (1000千円) | 大阪の災害の実態解明とデジタルメディ ア技術を用いた防災教育 |

| |
|--|
| 以下、フリー記入 |
| (所属学会) 日本自然災害学会（企画委員，学術講演会部会委員） 日本安全教育学会 日本災害情報学会（学会誌編集委員会委員） 地域安全学会 科学技術社会論学会（理事） 地区防災計画学会 Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society |
| (社会貢献活動) 大阪府 安全教育推進委員会 委員長 泉大津市 防災会議 委員 印南町 防災会議 委員 大阪府立吹田東高等学校学校協議会 委員 高槻市教育委員会事務「点検・評価」 |
| (その他業績として記載を希望する事項) President, Avoidable Deaths Network 大阪教育大学 学校安全推進センター 共同研究員 一般社団法人 共生社会支援協議会 理事 特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム 理事 和歌山県印南町印南地区津波防災ワークショップ講師（2022年10月13日，印南町公民館） 大阪市東淀川区BCP学びの場講師（2022年12月21日，東淀川区役所） ソーシャル・コミュニケーションリーダー（SCL）養成講座「まなびのための防災教育のデザイン」（2022年7月30日，関西大学梅田キャンパス & オンライン） UCL 講義「Reimagining 'disaster education': perspectives and methodologies」の「School Disaster Education in Japan」（2022年4月，オンライン） いわて高等教育コンソーシアム2022年度後期集中講義「危機管理と復興」の「防災教育を考える」（2022年12月3日，マリオス） 関大の知にふれる「生活の中の防災」（2022年9月27日，大阪府立高槻北高等学校） 2022年度関西大学おおさか文化セミナー（後期）「防災学を実化する——大阪での防災教育——」（2022年10月12日，関西大学千里山キャンパス） |

研究業績

■ 菅 磨志保

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------------|--------------------------------|--|
| (著書) コロナ禍における市民活動の展開 | 分担執筆 | 2022年3月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編『COVID-19災害』「雇用・労働・市民生活への影響(9章)」(中村・岡本・菅) pp.168-173の第3節を菅が担当。 |
| (その他、論考・研究資料等) 産学民官の連携に関する調査 | 共著 | 2022年5月 | 厚生労働省 (厚生労働行政推進調査事業費) | 「災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究」(代表：浜松医科大学・尾島俊之教授)令和3年度 総括・分担研究報告書Ⅱ-2, 本文 pp.52-63を菅が執筆。pp.64-73を菅・中村・坪井が共同執筆(査読なし) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 被災世帯の生活再建支援需要評価に基づく「災害ケースマネジメント」の可能性と課題——2018西日本豪雨・広島県坂町における3年間の生活再建過程の分析から | 共同 | 2022年3月19日 | 社会学系4学会連合 | 第8回震災問題研究交流会(社会学系4学会連合) 静岡・田村・中村・菅・大塚(Zoom) |
| 生活再建支援のための被災者調査の可能性と課題——「災害ケースマネジメント」実現に向けて | 共同 | 2022年10月1日 | 日本災害復興学会 | 第7回日本災害復興学会・分科会, 菅(企画)田村・中村・静岡・坪井, 於:京都大学防災研究所 |
| (招待講演) 災禍に対応する市民活動——コロナ禍におけるローカルネットワークの事例から | 単独 | 2021年9月13日 | 愛知NPO おたがい さま会議 | 第91回 愛知NPO おたがいさま会議(Zoom) |
| 災害多発時代の消防団と自主防災組織のあり方(パネルディスカッション) | 共同 | 2022年11月26日 | 総務省消防庁・奈良 県・奈良市 | 地域防災力充実強化宣言 in 奈良2022, 於:奈良県コンベンションセンター |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費(挑戦的萌芽研究) | 研究分担者 | 2018年度～ 2022年度 | 50 (2,600/6,240) | 地域の「受援力」概念構成と応用可能性に関する総合的研究(延長) |
| 厚生労働行政推進調査事業費 | 研究分担者 | 2022年度～ 2024年度 | 400 (18372:2022年度分) | 災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究(代表:浜松医科大学・尾島俊之教授) |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本社会学会, 日本都市学会・関東都市学会, 日本NPO学会, 地域社会学会 日本災害復興学会, 日本災害情報学会, 地域安全学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事(2004年～現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員(2012年3月～現在に至る) 特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所 理事(2015年12月～現在に至る) 奈良県「奈良県地域防災計画検討委員会」委員(2021年4月～現在に至る) 中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)』審査委員会」委員・座長(2021年9月～現在に至る) 大阪府「大阪府河川整備審議会」委員(2021年10月～現在に至る) 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム(JPF)「JPF国内事業審査分科会」委員(2021年12月～現在に至る) | | | | |

■ 菅原 慎悦

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|----------------------|--------------------------------------|--|
| (著書) リスク・ガバナンスと「安全」の「科学化」 | 分担執筆 | 2022年4月 | ミネルヴァ書房 | 関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19災害』43-59. |
| (学術論文) Ensuring a prudent combination of risk insights and a defense-in-depth philosophy through a reinterpretation of hierarchical safety goals | 単著 | 2022年11月 | Taylor & Francis | Journal of Nuclear Science and Technology, DOI: 10.1080/00223131.2022.2142310 (査読有) |
| Re-embedding Geological Disposal in Distant Futures: Future-centered approach and its exploratory trial | 共著 | 2022年12月 | International Youth Nuclear Congress | Hanae Arimune, Eito Kamigawara, Moe Kobayashi, Yuria Komma, Nene Saito, Arisa Takaya, Shiori Deguchi, Yota Nakagawa, Takuto Nakamura, Ryoga Hata, Kei Hirakawa, Setsuka Hirano, Yusuke Murayama, Daisuke Morita, Yuna Morimoto, and Yuta Ryuman と共著, Proceedings of IYNC2022, Koriyama, Japan. (査読有) |
| (その他、論考・研究資料等) 座談会「原子力災害と復興、そしてエネルギー問題にいかに向き合うのか」 | 共著 | 2022年1月 | 土木学会 | 村上道夫・中島みき・吉田学と共著, 土木学会誌107(1), 53-58. |
| エア引っ越しと文化論 | 単著 | 2022年1月 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会誌64(1), 57. |
| 夜更けのビールで消せぬもの | 単著 | 2022年4月 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会誌64(4), 232. |
| 書評『災害情報——東日本大震災からの教訓——』(関谷直也・著) | 単著 | 2022年4月 | 日本リスク学会 | リスク学研究31(3), 273-275. |
| 春宵 | 単著 | 2022年7月 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会誌64(10), 416. |
| テキストとしての標準? | 単著 | 2022年10月 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会誌64(10), 587. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) マイクロ炉の安全目標に関する予備的検討 | 共同 | 2022年9月9日 | 日本原子力学会 | 大槻昇平・淀忠勝・蒲原覚と共著, 日本原子力学会2022年秋の大会, 茨城大学. |
| 「想定」の打破に向けた体系的アプローチの予備的検討 | 単独 | 2022年9月18日 | 科学社会学会 | 第11回科学社会学会年次大会, 大阪大学吹田キャンパス. |
| 安全目標と継続的安全性向上に関する一考察 | 単独 | 2022年11月13日 | 日本リスク学会 | 第35回リスク学会年次大会, 京都大学桂キャンパス. |
| Media representation of 'numbers' in the pandemic: Japanese case and its implications for risk governance | 共同 | 2022年11月18日 | SRA (Society for Risk Analysis) Asia | Masamichi Kobayashi と共著, SRA Asia Conference 2022, Online. |
| (招待講演) 新聞メディアは COVID-19 をどう報じたか? —— 全国紙における『接触8割減』の内容分析 | 共同 | 2022年2月15日 | Covid-19と経済活動 | 小林誠道・長井裕傑と共同, 東大・仲田准教授主宰「Covid-19と経済活動」, オンライン. |
| 地層処分『リスク』について: 社会科学者の観点から | 単独 | 2022年2月28日 | 関西原子力懇談会 | 第2回放射性廃棄物処分に関する技術動向調査委員会, 大阪科学技術センター. |
| 「リスク情報活用に関するリスクコミュニケーション」の討論者として登壇 | 単独 | 2022年12月16日 | 日本原子力学会リスク部会 | シンポジウム「リスク情報活用に関するリスクコミュニケーション」, オンライン. |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2021年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科研費(若手研究) | 代表 | 2019-2021年度 (延長中) | 822 (4,160) | 合理的な「最悪シナリオ」の想定は如何にあるべきか? —— 原子力災害リスク管理を例に |
| 科研費(基盤C) | 分担 | 2020-2022年度 | 364 (4,290) | リスクと社会の相互作用における「予測」の逆機能の批判的検討 |

研 究 業 績

| | | | | |
|---|----|-------------|----------------|---|
| 科研費（基盤C） | 代表 | 2022-2025年度 | 910 (4,030) | 専門家の間で意見が分かれるリスク問題の専門知集約過程に係る科学技術社会学的分析 |
| 受託研究（三菱重工業株式会社） | 代表 | 2022年度 | 500 | 小型原子炉の安全目標に関する検討 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本リスク学会 理事 | | | | |
| 日本原子力学会 倫理委員会委員, 次期軽水炉の技術要件検討ワーキンググループ（フェーズ2）委員 | | | | |
| 日本保健物理学会 放射性廃棄物の管理・処分に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会委員 | | | | |
| 科学社会学会, 日本自然災害学会 | | | | |
| Society for Risk Analysis, Society for Social Studies of Science | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| ラジオ大阪「Hit & Hit !」の「あんぜん・あんしん・アンサンブル」に出演（2022年11月7日15時40分頃～） | | | | |
| 「あなたの守りたいものは何ですか？ — リスクと安全基準」第35回高槻ミューズキャンパス公開講座, 2022年11月5日@高槻ミューズキャンパス. | | | | |

研究業績書（大学院生）

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 分担執筆・単著・共著 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有もしくは査読相当の場合はその旨 |
|--------------------------|---|------------|------------|------------|--|
| 【学術論文】 | | | | | |
| Karina Aprilia Sujatmiko | Estimating Impact of the Reality-of-Evacuation-Start (RES) Sources in Indonesia | 共著 | 2022年11月1日 | JSCE | Karina A. SUJATMIKO, Yoshihiro OKUMURA and Jo OHTANI, J. JSCE, Ser. B2, Coastal engineering, Vol.78, No.2, I_307-I_312. 査読有 |
| | 住民を取り巻く状況の変化と避難開始の関係 | 共著 | 2022年11月1日 | 土木学会 | 高井環, 奥村与志弘, Karina A. SUJATMIKO, 土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.78, No.2, I_343-I_348. 査読有 |
| 有吉 恭子 | 災害時避難所の設立経緯に見る公共施設の位置づけ | 共著 | 2022年 5月 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会予稿集, No.23, 有吉恭子・越山健治 |
| | 日本における避難所の課題解決に資する空間配置及び空間利用に関する事例研究 | 共著 | 2022年 7月 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会論文集, No.20-2, pp285-296, 有吉恭子・越山健治 (査読有) |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—避難者対応を事例として— | 共著 | 2022年10月 | 地域安全学会 | 地域安全学会梗概集, No.51, pp37-40, 有吉恭子・柴野将行・塩津達哉・坪井壘太郎 |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—関係機関調整と意思決定過程を事例として— | 共著 | 2022年10月 | 地域安全学会 | 地域安全学会梗概集, No.51, pp41-44, 柴野将行・有吉恭子・塩津達哉・坪井壘太郎 |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—警戒区域設定と避難誘導実施体制を事例として— | 共著 | 2022年10月 | 地域安全学会 | 地域安全学会梗概集, No.51, pp45-48, 塩津達哉・有吉恭子・柴野将行・坪井壘太郎 |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—本部体制の構築と情報・認識共有を事例として— | 共著 | 2022年10月 | 地域安全学会 | 地域安全学会梗概集, No.51, pp49-52, 坪井壘太郎・有吉恭子・柴野将行・塩津達哉 |
| | 日本における災害時避難所空間の利用経緯とその影響 | 共著 | 2022年11月 | 地域安全学会 | 地域安全学会論文集, No.41, pp143-153, 有吉恭子・越山健治 (査読有) |
| | 避難生活の質の向上に関する基礎的研究—避難所運営経験者へのインタビュー調査から— | 共著 | 2022年11月 | 地域安全学会 | 地域安全学会論文集, No.41, pp107-117, 松川杏寧・高岡誠子・木作尚子・柴野将行・有吉恭子 (査読有) |
| 浦山 郁 | 新型コロナウイルス感染症に対する認識の変化：ワクチン接種に対するリスク認知に着目して | 共著 | 2022年 3月 | 社会安全研究センター | 社会安全学研究, 第12巻, 47-69. (査読有) (浦山郁・土田昭司) [DOI: http://doi.org/10.32286/00026526] |
| | 新型コロナウイルス感染症流行ならびにそのワクチンに対する2021年10月までの市民の対応の変化 | 共著 | 2022年 9月 | 日本リスク学会 | リスク学研究, 第3巻, 第1号, 43-56. (査読有) (土田昭司・静間健人・浦山郁) [DOI: http://doi.org/10.11447/jjra.SRA-0403] |
| 大塚 理加 | 飯田市「通いの場 (いきいき教室)」参加者における避難訓練参加への関連要因の検討 | 共著 | 2022年 | 飯田市 | 学輪 (9) 25-30, 2022. 宮國康弘 (査読有) |
| | 地域高齢者の災害準備の現状と課題 JAGES2019による検討 | 共著 | 2022年 | 地域安全学会 | 地域安全学会論文集41, 73-81, 2022. 永松伸吾, 尾島俊之, 宮國康弘, 高杉友, 松川杏寧, 島崎敢, 池田真幸, 李泰榮, 近藤克則 |
| 小村 佳代 | コロナ禍における日本国際看護師の活動と今後の課題 | 共著 | 2022年11月1日 | 国際臨床医学会 | 国際臨床医学会雑誌 第6巻 第1号, 49-55. (査読有), (岩佐由希子, 白石志津香, 西村真由美), Online edition: ISSN 2433-6300, Print edition: ISSN 2433-6297 |
| 高井 環 | 住民を取り巻く状況の変化と避難開始の関係 | 共著 | 2022年11月1日 | 土木学会 | 高井環, 奥村与志弘, Karina A. SUJATMIKO, 土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.78, No.2, I_343-I_348. 査読有 |
| 李 舒迪 | コロナ禍に入って1年半を経過した在外邦人の状況—関西大学校友会海外支部員を対象としたフォローアップ調査— | 共著 | 2022年 3月 | 社会安全学部 | 社会安全学研究, 第12巻, pp.33-46. (近藤誠司・李舒迪・王斤伯・蔡一然) 査読あり |
| 山崎 健司 | 国際疾病分類を用いた災害関連死と持病・既往症の関係分析 | 共著 | 2022年11月 | 地域安全学会 | 山崎健司, 奥村与志弘, 地域安全学会論文集, No.41, pp.43-50. 査読有 |
| 【その他、論考・研究資料等】 | | | | | |
| 大塚 理加 | 全国基礎自治体を対象とした「福祉部署から見た防災対策・災害対応調査」報告書 | 共著 | 2022年 | 防災科学技術研究所 | 防災科学技術研究所研究資料, 松川杏寧 |

研究業績書（大学院生）

| | 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
|------------------------------|--|-------|-----------------|--|---|
| 【学会発表】 | | | | | |
| Karina Aprilia Sujatmiko | 日本とインドネシアにおける避難トリガーの比較研究 | 共同 | 2022年9月18日 | 自然災害学会 | 山科華奈, Karina A. SUJATMIKO, 高井環, 奥村与志弘, 第41回自然災害学会学術講演会, I-3-4, 立命館大学草津キャンパス (滋賀県・草津市). |
| 有吉 恭子 | 災害時避難所の設立経緯に見る公共施設の位置づけ | 共同 | 2022年3月19日 | 日本災害情報学会 | 第24回日本災害情報学会, オンライン/一橋大学 (ハイブリッド) |
| | 日本における災害時避難所空間の利用経緯とその影響 | 共同 | 2022年10月29日 | 地域安全学会 | 第51回地域安全学会研究発表会 (秋季), 於静岡県地震防災センター |
| | 避難生活の質の向上に関する基礎的研究—避難所運営経験者へのインタビュー調査から— | 共同 | 2022年10月29日 | 地域安全学会 | 第51回地域安全学会研究発表会 (秋季), 於静岡県地震防災センター |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—避難者対応を事例として— | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 第51回地域安全学会研究発表会 (秋季), 於静岡県地震防災センター |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—関係機関調整と意思決定過程を事例として— | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 第51回地域安全学会研究発表会 (秋季), 於静岡県地震防災センター |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—警戒区域設定と避難誘導実施体制を事例として— | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 第51回地域安全学会研究発表会 (秋季), 於静岡県地震防災センター |
| | 大阪府吹田市における不発弾処理対応に関する研究—本部体制の構築と情報・認識共有を事例として— | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 第51回地域安全学会研究発表会 (秋季), 於静岡県地震防災センター |
| 浦山 郁 | 新型コロナワクチン接種を拒む人 | 共同 | 2022年11月13日 | 日本リスク学会 | 第35回日本リスク学会年次大会 (京都大学桂キャンパス) (土田昭司, 静間健人, 浦山郁) |
| | コロナ禍において重視する生活領域と諸活動の関連 | 共同 | 2022年11月13日 | 日本リスク学会 | 第35回日本リスク学会年次大会 (京都大学桂キャンパス) (静間健人, 土田昭司, 浦山郁) |
| | 第6波までの新型コロナウイルス感染症に対する思いの変化 | 共同 | 2022年11月13日 | 日本リスク学会 | 第35回日本リスク学会年次大会 (京都大学桂キャンパス) (浦山郁, 土田昭司, 静間健人) |
| | Changes in People's Minds About COVID-19 in Japan | 共同 | 2022年11月18日~19日 | The Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis | SRA Asia Conference 2022 (オンライン) (Urayama, K. & Tsuchida, S.) |
| 大塚 理加 | 地域高齢者の災害準備の現状と課題 JAGES2019による検討 | 共同 | 2022年 | 地域安全学会 | 地域安全学会 2021年度 第51回研究発表会 (秋季)・浜松 永松伸吾, 尾島俊之, 宮國康弘, 高杉友, 松川杏寧, 島崎敢, 池田真幸, 李泰榮, 近藤克則 |
| Wongsuriyanan, Chayanee | A case study of disaster risk analysis in Schools for blind in Thailand | 共同 | 2022年12月5日 | The Society for Risk Analysis (SRA) | Annual Meeting 2022 (Tampa, USA) (Wongsuriyanan, C., Tsuchida, S.) |
| Tshiswaka Tshilumba Chrioni | Understanding Compound Risk Context of Goma City by Extending Pressure and Release Model | 共同 | 2022年9月22日 | IDRiM | IDRiM Conference (Online) |
| Brazao Mendes Mario Domingos | Making Community-based Early Warning System Work: A Case Study of CBEWS for Flood Management along Licungo River Basin, in Mozambique. | 共同 | 2022年9月22日 | IDRiM | IDRiM Conference (Online) |
| 野元 颯馬 | XRを用いた自己効力感を高めるための地震体験アプリケーションの開発 | 共同 | 2022年3月7日 | 電子情報通信学会 | 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.121, No.417, EMM2021-96, P23-28, オンライン (野元颯馬, 河野和宏) (査読なし) (EMM研究会優秀学生発表賞) |
| | What language do experts employ to facilitate community members' disasters preparedness? | 共同 | 2022年9月21日~23日 | Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society | The 12th International Conference of the International Society for the INTEGRATED DISASTER RISK MANAGEMENT (IDRiM 2022) (Online) (Soma Nomoto, Hideyuki Shiroshita, Ravindra Jayaratne, Kaori Kitagawa) |

社会安全学研究 第13巻

| | | | | | |
|--------------------------|--|----------------|---|---|--|
| | An Examination of Activities in an Extended Reality Environment that Facilitate Earthquake Countermeasures | 共同 | 2022年11月18日～19日 | The Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis (SRA Asia) | 7th SRA Asia Conference 2022 (SRA Asia 2022) (Seoul, Republic of Korea (Online)) (Soma Nomoto, Shoji Tsuchida) |
| 林 昭信 | 中小企業の事業承継に対する新たなリスクファイナンス | | 2022年9月23日 | 日本リスクマネジメント学会 | 第47回全国大会 東京エレクトロンホール宮城 大会議室 |
| 石田 晴香 | 風水害と交通事故の対策効果の比較研究 | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 石田晴香, 奥村与志弘, 地域安全学会梗概集, No.51, pp.127-128, 静岡県地震防災センター(静岡県静岡市). (ポスター発表) |
| | 対策効果に関する自然災害と人為災害の横断的分析 | 共同 | 2022年12月22日 | 関西大学他 | 石田晴香, 奥村与志弘, 第12回巨大津波災害に関する合同研究集会, 関西大学梅田キャンパス (大阪府大阪市). |
| 徐 洋 | 大阪府内の幼児を対象とした防災教育の現状調査 | 共同 | 2022年10月8日 | 日本災害情報学会 | 第25回日本災害情報学会, 日本大学三軒茶屋キャンパス |
| 高井 環 | 日本とインドネシアにおける避難トリガーの比較研究 | 共同 | 2022年9月18日 | 自然災害学会 | 山科華奈, Karina A. SUJATMIKO, 高井環, 奥村与志弘, 第41回自然災害学会学術講演会, I-3-4, 立命館大学草津キャンパス (滋賀県・草津市). |
| | 住民を取り巻く状況の変化と避難開始の関係に関する一考察 | 共同 | 2022年10月30日 | 地域安全学会 | 高井環, 奥村与志弘, 地域安全学会梗概集, No.51, pp.111-112, 静岡県地震防災センター(静岡県静岡市). (ポスター発表) |
| | 住民を取り巻く状況の変化が避難開始に及ぼす影響 | 共同 | 2022年12月23日 | 関西大学他 | 高井環, 奥村与志弘, 第12回巨大津波災害に関する合同研究集会, 関西大学梅田キャンパス (大阪府大阪市). |
| 小林 誠道 | Media representation of 'numbers' in the pandemic: Japanese case and its implications for risk governance | 共同 | 2022年11月18日 | SRA (Society for Risk Analysis) Asia | Shin-etsu Sugawara と共著, SRA Asia Conference 2022, Online. |
| 山崎 健司 | 気仙沼市における2011年東日本大震災による関連死の実態把握 | 共同 | 2022年9月18日 | 自然災害学会 | 山崎健司, 奥村与志弘, 第41回自然災害学会学術講演会, II-4-6, 立命館大学草津キャンパス (滋賀県・草津市). |
| | 関連死発生プロセスの可視化に関する検討 | 共同 | 2022年9月18日 | 自然災害学会 | 栗田直樹, 奥村与志弘, 山崎健司, 川崎雄太, 上田千晃, 第41回自然災害学会学術講演会, II-4-7, 立命館大学草津キャンパス (滋賀県・草津市). |
| | 気仙沼市関連死等申立書を用いた関連死発生プロセスの可視化 | 共同 | 2022年12月23日 | 関西大学他 | 山崎健司, 奥村与志弘, 第12回巨大津波災害に関する合同研究集会, 関西大学梅田キャンパス (大阪府大阪市). |
| 【招待講演】 | | | | | |
| 小林 誠道 | 新聞メディアはCOVID-19をどう報じたか? —全国紙における『接触8割減』の内容分析 社会課題の解決に向けて～気候変動問題に取り組む若者の挑戦～ | 共同 単独 | 2022年2月15日 2022年11月26日 | Covid-19と経済活動 京女から平和をつくる会 | 菅原慎悦・長井裕傑と共同, 東大・仲田准教授 主宰「Covid-19と経済活動」, オンライン. 講演会「気候変動を知ろう! —クライメイトジャスティスが開く平和な未来—」(オンライン) |
| 氏名 | 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| 【競争的資金】 | | | | | |
| 大塚 理加 | 日本学術振興会: 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団: 在宅医療研究への助成 厚生労働省: 令和4年度厚生労働科学研究費補助金認知症政策研究事業 | 代表 代表 分担 | 2020年4月-2023年3月 2022年3月-2023年3月 2022年4月-2023年3月 | (3,640) 1,000 1,000 | 高齢者の防災対策を促進する要因に関する研究 一コホート調査による地域レベルでの検討 分譲マンションにおける在宅療養者への支援に関する調査研究 独居認知症高齢者等の地域での暮らしを安定化・永続化するための研究 |
| 【以下、フリー記入】 | | | | | |
| 【所属学会】 | | | | | |
| Karina Aprilia Sujatmiko | 日本土木学会 日本自然災害学会 Ikatan Sarjana Oseanologi Indonesia (インドネシア海洋学会) | | | | |
| 有吉 恭子 | 地域安全学会 | | | | |

研究業績書（大学院生）

| | |
|----------------------------|--|
| 浦山 郁 | 日本災害情報学会 戦略研究学会 日本原子力学会 日本社会心理学会 日本リスク学会 |
| 延東 晃 | 日本リスクマネジメント学会 |
| 大塚 理加 | 地域安全学会, 日本リスク研究学会, 日本社会福祉学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本健康心理学会, 日本認知症ケア学会, 日本老年社会学会, 日本公衆衛生学会, 日本在宅栄養管理学会, 日本老年医学会, 日本在宅医療連合学会 |
| 小村 佳代 | 日本社会心理学会 日本看護協会 日本看護学教育学会 日本看護科学学会 日本災害看護学会 日本慢性看護学会 日本リウマチ看護学会 国際臨床医学会 |
| 林 昭信 | 日本リスクマネジメント学会, 事業承継学会 |
| 【その他業績として記載を希望する事項】 | |
| 浦山 郁 | 関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト 次世代博士研究員（国立研究開発法人科学技術振興機構 次世代研究者挑戦的研究プログラム 関西大学 SPRING スカラシップ研究学生）2022年1月31日～現在 甲南女子大学 人間科学部心理学科（心理調査法実習 [非常勤講師]） 神戸親和女子大学 文学部心理学科/国際文化学科（情報と統計 [非常勤講師]） 大阪保健福祉専門学校 社会福祉科（心理学の基礎, 心理学理論と心理的支援 [非常勤講師]） |
| 小村 佳代 | 兵庫大学看護学部 講師（常勤） 四條畷学園大学看護学部「災害看護論」 非常勤講師 |
| 野元 颯馬 | 大精協看護専門学校看護科（情報の科学 [非常勤講師]） |

